

# 探究活動ガイドブック

## 鹿本 Design

～自分の未来、地域の未来、世界の未来を Design しよう～

### 目次

はじめに	2
3年間の探究活動の概要	3
3年間の探究活動の流れ	4
<b>YamagaScienceProgram I</b>	
YamagaScienceProgram I の目的と流れ	6
研究テーマを決めよう	8
検索の仕方を学ぼう	9
自分の興味・関心を、キーワードから引きだそう	10
グループで研究テーマを決めよう	16
課題研究に向かないテーマとその解決策	20
リサーチクエスチョンを元に研究手法を決めよう	21
調査方法①インタビュー調査	22
調査方法②アンケート調査	30
<b>YamagaScienceProgram II</b>	
1 調査をデザインしよう	39
2 調査方法を身につけよう	
2-1 インターネットによる情報収集	40
2-2 本による情報収集	41
3 アンケート調査の計画と分析	
3-1 アンケート調査の進め方	45
3-2 アンケート調査の集計と解析	47
(現在作成中)	
4 論文の書き方	
令和4年度代表者成果物	
令和4年度YSPⅡ研究テーマ一覧	

## はじめに

探究活動。それは今までの教科の学習や課外活動で学んだ事を元に、身の回りや社会、自然の中から自分で課題を設定し、解決の道を模索していく活動です。そしてこれから取り組む探究活動は今までの学習と大きく異なる点があります。

- ①先生が課題を与えてくれるのではなく、自分で課題を設定する。
- ②先生が解決方法を示してくれるのではなく、自分で課題解決のための手法を決める。
- ③何か決まった「正解」があるわけではなく、探究を通して論理的にその答えを見つける。
- ④その成果を必ず全員が文章にまとめ、発表すること。

すべてを一から自分で決め、調査を重ね、その成果を発表する過程の中には、様々な苦勞があります。まず、自分が設定した課題について広く・深く知らなければなりません。そのためには多くの文章を読み、地域や行政、企業、あるいはその分野の専門研究をされている方々に話を伺い、自分の知見を深める必要があります。探究活動を通して、皆さんは地域や日本、世界が抱える“課題”について深く知ると同時に、“魅力”や“可能性”を発見していくはずですが、そして知っているようで実はよく分からない“自分”を見つめ、再発見していきます。

自分の知りたいことを深め、意見を交わし、結論を導きだしていくのは素晴らしいものです。そして、その全てが楽しい。

探究活動を通して皆さんは「知的好奇心」「論理的思考力・判断力」「共創力」といった、今、世界が必要としている力を培っていくことでしょう。

多くの鹿高生たちが探究活動をとおして、「新たな自分」と出会ってきました。そして自分の将来の目標に向かって羽ばたいていきました。

これから3年間、取り組んでいく探究。その向こうには広い世界が広がっています。目一杯楽しんでいきましょう。

### 3年間の探究活動の概要

		概要	備考
基礎力育成期	1年	<p><b>YSP I (グループ研究)</b></p> <p>「大きな問い」を「小さな問い」に絞り、「仮説」を立てる。それら元にフィールドワークを行い、その成果を発表する。</p> <p>①班で探究テーマを決め、社会の課題と自分たちとのつながりを学ぶ</p> <p>②探究に必要な文献調査・インタビュー調査・アンケート調査のやり方を学び実践する。</p> <p>③レポートの書き方、ポスターの作り方を学ぶ。</p> <p>④研究成果を校内・外部で発表する。</p> <p>※レポートは各個人で、ポスターはグループで作成。</p> <p>※レポートの研究背景や動機、研究手法等は班で共通して良いが、最後の考察は必ず各自で書く。</p>	<p>夏休み：探究 Day</p> <p>10月：中間発表</p> <p>3月：研究成果発表</p> <p>STIforSDGs 企業講話</p>
発展期	2年	<p><b>YSP II (個人研究)</b></p> <p>個人の興味関心に基づき研究テーマを設定する。リサーチクエスチョンを元に仮説を立て、調査方法を決定する。それらを元に研究を行い、その成果を発表する。</p> <p>①探究を通して、自分の生き方・在り方を考えていく。</p> <p>②YSP I で学んだ探究スキルを個人で実践する。</p> <p>③研究成果を外部に積極的に発表することで、自分の世界を広げる。</p> <p>④研究に応じて大学や企業、地域との連携を行う。</p>	<p>夏休み：探究 Day</p> <p>7月：研究計画発表会</p> <p>10月：中間発表</p> <p>3月：研究成果発表会</p> <p>夏休み 大学研究室訪問（希望者）</p> <p>冬休み 東京大学先端科学技術研究センター研修（選抜者）</p>
完成期	3年	<p><b>YSP III (個人・共同研究)</b></p> <p>YSP II を元に、個人または共同研究を行う。</p> <p>研究を深め、後輩に手本を示すと同時に助言を行う。</p> <p>3年間の学びを振り返り、自分の進路実現につなげる。</p> <p>①3年間の探究を通して、自分の生き方・在り方を考え、進路に繋げる。</p> <p>②YSP II での学びを深化・発展させる。</p> <p>③研究成果を外部・1年生に示す。</p> <p>④同級生および2年生の研究に積極的に助言を行うことで批判的思考力を身につける。</p>	<p>7月</p> <p>最終成果発表会</p>

### 3年間の探究の流れ（令和5年度）

1年次：1単位 YSP I	2年次：2単位 YSP II	3年次：2単位 YSP III
グループ研究	個人研究 ※一部グループ研究	個人・共同研究
<p><b>4～2月 鹿本 Design I</b></p> <p><b>4月</b></p> <p>①オリエンテーション（校内） ②講話（外部）なぜ探究か？ ③SDGs カードゲーム(クラス) *社会の様々な課題を知る</p> <p><b>5月</b></p> <p>④⑤情報収集講座（クラス） 情報収集スキル・モラルを学ぶ <b>班編成完了（5月末）</b></p> <p><b>6月</b></p> <p>⑥⑦⑧夏休みの探究活動に向けての問いを立て、調査スタート。 研究計画作成</p> <p><b>7月</b></p> <p>研究計画作成</p>	<p><b>4月</b></p> <p>オリエンテーション（校内） 講話（外部）</p> <p><b>5月</b></p> <p><b>6月</b></p> <p>「問いの立て方講座」</p> <p><b>7月</b></p>	<p><b>4月</b></p> <p>オリエンテーション（校内） 研究の方向性決定 ①個人研究 ②共同研究</p> <p><b>5～7月</b></p> <p>最終成果発表に向けての準備 2年生分野別研究計画発表にて 指導・助言を行う</p>
2年研究テーマ・研究計画発表会（3年は助言）		
3年生最終成果発表会(1年生参観)		
7月探究 DAY（夏休み期間2日間）1・2年		
<p><b>8月</b></p> <p><b>9月</b></p> <p>⑪⑫⑬⑭ クラス内中間報告 中間発表向けの準備</p> <p><b>10月</b></p> <p>分野別中間発表（スライド）</p>	<p><b>8月</b></p> <p><b>9月</b></p> <p>分野内中間報告 中間発表向けの準備</p> <p><b>10月</b></p> <p>クラス別中間発表（論文）</p>	

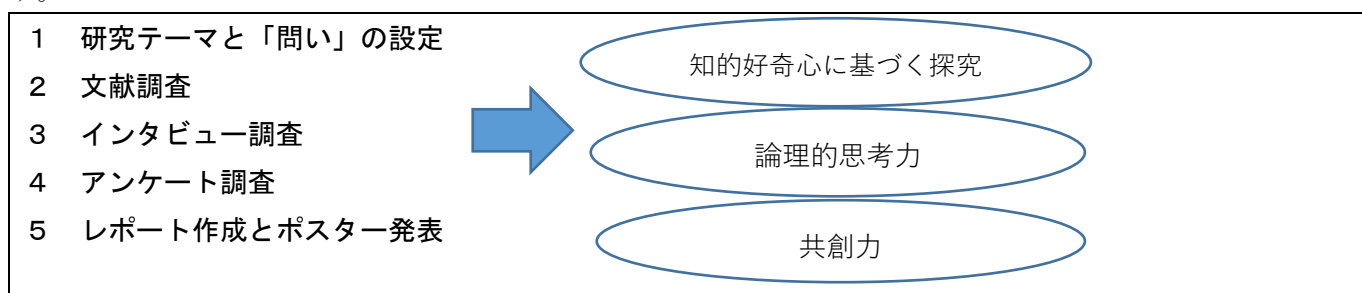
<p><b>11・12月</b> 論文作成（1月始業式提出） STIforSDGs 企業講話</p> <p><b>1・2月</b> 成果発表会に向けてポスター作成</p> <p><b>3月</b></p>	<p><b>11・12月</b> 論文作成（1月始業式提出）</p> <p><b>1・2月</b> 成果発表会に向けてのポスター作成</p>	
<p>① YSP 代表者成果発表会（2年代表者） ② YSP 研究成果発表会（1・2年）</p>		
<p><b>YSPⅡスタート</b> テーマの候補を挙げる 研究したいテーマについての 先行研究調査</p>	<p><b>YSPⅢスタート</b> 分野を解体し、ポスター相互評価を行う 共同研究・個人研究に向けての 準備</p>	

# YamagaScienceProgram I

## 1 YamagaScienceProgram I の目的と流れ

1年次はグループで課題研究を行っていきます。グループの人数は3～4人です。5人以上になると、全員の予定を合わせる事が難しくなります。また、他人に頼って自ら行動しない人が出てきてしまいます。かといって2人だと意見の多様性が生まれません。3～4人が活動しやすい人数なのです。

この單元では、これからの課題研究に必要な「3つの力」を以下の活動を通して身に付けていきます。



グループ課題研究の流れを示したのが右図です。また「3つの力」を6つの項目で評価します。

### ステップ1のポイント

- ・自分が疑問に思ったことを調べよう
- ・テーマを様々な観点から絞ろう
- ・調べる目的を明確にするため、「問い」の形にしよう

### ステップ2のポイント

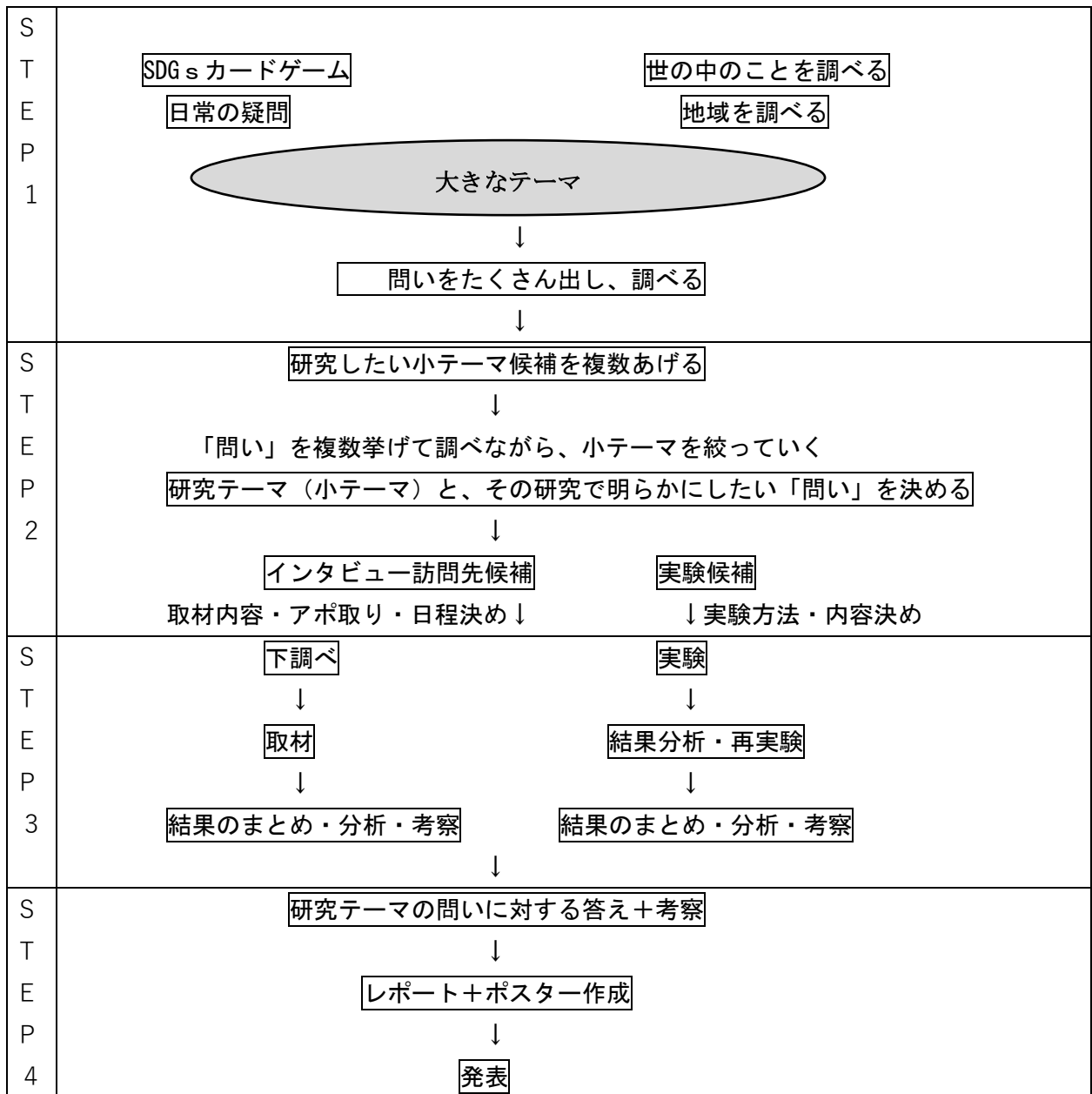
- ・問いの答えを導けるように小テーマを選ぼう
- ・小テーマを調べられる訪問先を複数あげよう
- ・アポ取りの前に、訪問先の下調べと取材の目的を明確にしよう
- ・アポは早めにとろう
- ・アポが取れないときや訪問先がないときは小テーマを絞りなおそう
- ・アンケートは「誰に」「なんのために」取るのかを明確にし、必ず添削をしてもらおう
- ・班の中の役割を理解して分担しよう

### ステップ3のポイント

- ・下調べをしっかりとまとめよう
- ・取材の時は礼儀正しく、マナー良く行動しよう
- ・取材メモはポイントをまとめてわかりやすくしよう

### ステップ4のポイント

- ・報告書は、「研究背景・研究の意義→調査・考察→結論」の流れを意識して書こう
- ・レポートやポスターは文字だけでなく、グラフや図を用いて簡潔にわかりやすくまとめよう
- ・スライド発表では文字ではなく「グラフ」「図」「表」を多用しよう
- ・発表のときは、はっきりと大きな声で聞き取りやすく話そう



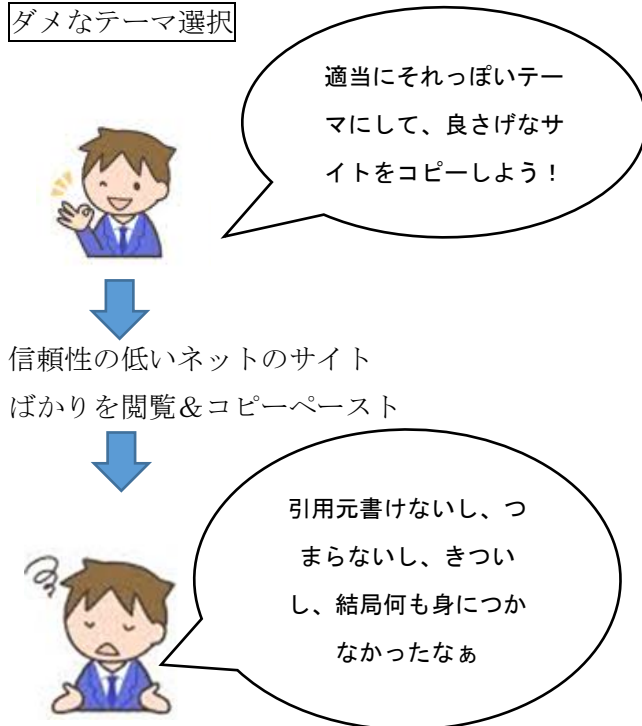
## 2 研究テーマを決めよう

課題研究は、テーマを決めることから始まります。テーマを決める際のポイントは次の三つです。

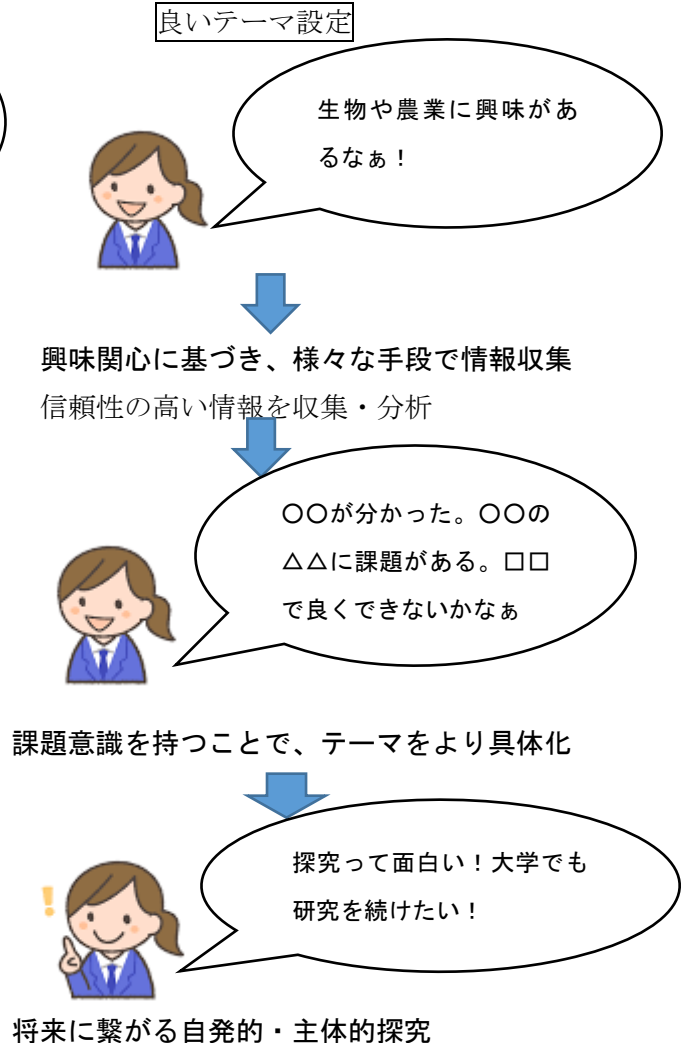
- ① 自分自身が興味のある研究テーマを選んでいるか。
- ② そのテーマを研究することで、社会・学術の課題に対しどのような意義があるのか。
- ③ 学問とのつながり・自分の進路とのつながり

自分の興味・関心に基づかずに、「社会で注目されているから」「社会問題になっているから」といった理由でテーマを設定すると、研究へのモチベーション維持が難しくなります。1年間、もしかしたら3年間取り組むことになるかもしれない研究です。自分自身が「知りたい!」「明らかにしたい!」と思えるテーマを選びましょう。②の視点も忘れてはなりません。こちらは興味のある分野に対する「課題意識（問題意識）」に繋がります。単に「興味がある」だけで研究を進めると、その多くはただの調べ学習で終わってしまいます。「〇〇がもっと△△ならいいのに」「□□の現状は、もっと〇〇すべきではないか」など、課題意識を持って研究に臨みましょう。すぐに課題が浮かばなくても大丈夫です。ほとんどの興味関心は、しっかりと深めていくことで、なんらかの社会・学術の課題につながります。まずは自分の興味関心をしっかりと掘り下げてみましょう。その上で、「問題は何か、課題は何か」を意識してください。そうして探究を深めていくと、自分の進路と繋がっていきます。

### ダメなテーマ選択



### 良いテーマ設定

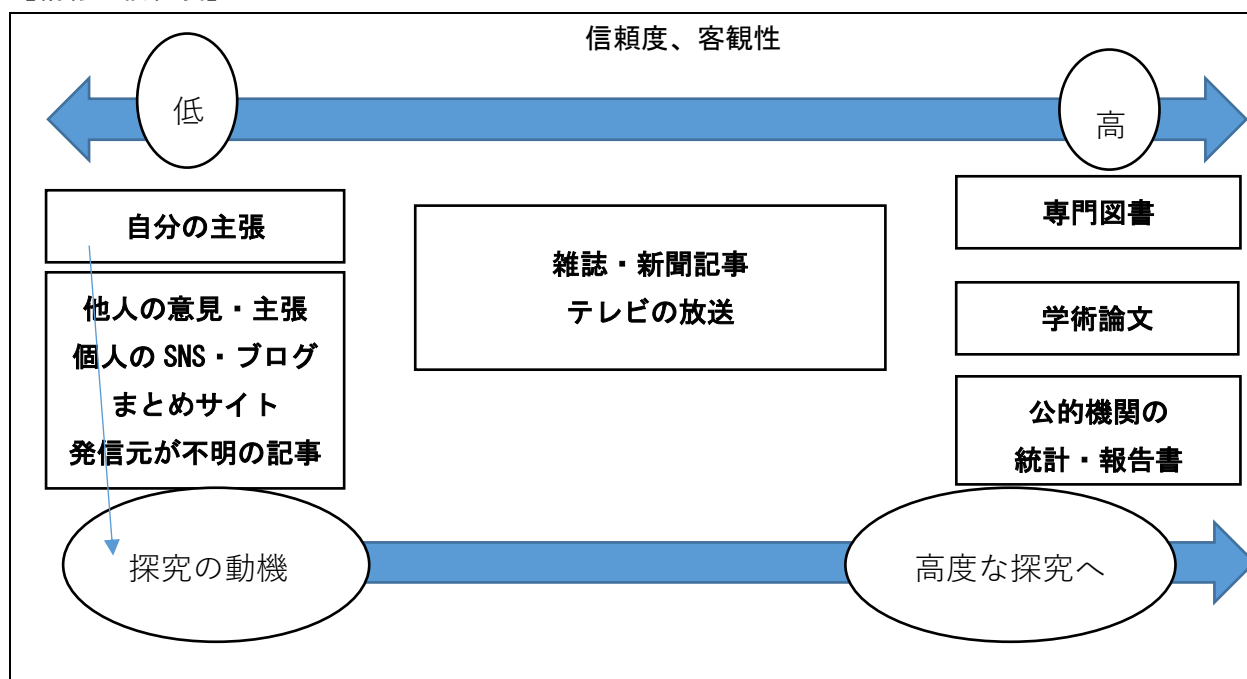




### 3 検索の仕方を学ぼう

研究を進める上での一番の基本が「文献調査」。文献調査は「本」「新聞や雑誌」「テレビ」「先輩や他校の生徒の論文」「インターネット」などからの情報収集です。なかでも皆さんがよく使うツールがインターネット。しかしネットは「どう使うか」「どこから情報を取るか」で得られる情報の「質」が大きく変わります。日常生活ではなく「探究」で使うためには技術が必要です。

#### 【情報の信頼度】



#### (1) インターネットを用いての文献調査

**Work** さまざまな検索ツールを用いて、より質の高い情報を得よう！

用いる検索ツールとその特徴 (検索の仕方→p )

検索ツール	特徴
Google	さまざまな情報が検索される。個人的なものから公的機関のものまで情報は玉石混交。現状を大まかに把握したり課題を掴んだりするには便利だが、信憑性の低い情報も多く、情報の「質」を見極める力が必要。
朝日けんさくくん	朝日新聞や朝日新聞社が発行している雑誌の情報を集められる。幅広い分野の情報に触れることができる。地域欄は地域の課題や解決に向けての取り組みなどの情報を集めやすい。情報源としての信頼度が比較的高く、研究テーマが決まらない時、「課題の発見」のためのツールとして便利。ただし、特定のテーマについて深く体系的に学ぶのには適さない。また同じトピックでも新聞社によって書き方が異なるため、他社との比較が必要。
GoogleScholar (グーグルスカラー)	学術専門誌や論文、書籍、要約など、さまざまな分野の学術資料を検索でき、多くの研究者が利用している。信頼性は高く、先行研究を調べる際によく使うツール。専門用語も多いので、最初は難しく感じるだろう。意味や定義が分からない言葉はこまめに調べよう。

電子政府 (e-gov)	公的機関が発信している情報を検索できる。情報源としての信頼度が高い。国や地域、団体の「現状・課題・解決のための方針」などの質の高い情報を得ることができる。使いこなすためには検索能力や得られた情報を読む力が必要。探究の際によく使うツールの一つ。
--------------	---

**課題1** スマートフォン（スマホ）は今や若者の娯楽、情報収集、社会的コミュニケーションの主要手段になっている。生活に欠かせないスマホだが、脳科学の世界で物議を醸している。「スマホを1時間以上いじる子は、使用度に比例して成績が下がる」（川島, 2018）というのだ。スマホは脳の認知機能にどのような影響を及ぼしているのだろうか？ 様々な検索ツールを用いて調べてみよう。

検索 ワード	※キーワードは複数組み合わせよう！ スマホ脳、スマホ脳過労、スマホ脳機能、デジタル認知症、スマホ認知症 等
-----------	--

用いた検索ツール①	Google
検索キーワード	スマホ脳
記事のタイトル	
Web 記事の作成者	
記事の公開年月日	
URL	今回は省略 ※引用参考文献に記載の必要があるため、必ず控えておく
分かったこと	
情報の信頼度の高さをチェックしましょう。 高い ・ 低い	
用いた検索ツール②	電子政府 (e-gov) ※必ず「行政横断検索」にチェックを入れること！
「スマホ脳」では目的の情報がほとんど得られない。「情報がない」のではなく「検索したキーワードが適切ではない」のだ。どのようにキーワードを変えれば目的の情報にたどり着けるだろうか？ キーワードを変えて検索してみよう。	
検索キーワード	
記事のタイトル	
著者・作成元	
記事の公開年月日	
URL	今回は省略 ※引用参考文献に記載の必要があるため、必ず控えておく
分かったこと	
情報の信頼度の高さをチェックしましょう。 高い ・ 低い	
用いた検索ツール③	GoogleScholar (グーグルスカラー)
専門的な情報が得られる。「脳への影響」を掘り下げても良いし、「使用ツール (手書き・スマホ) の違いによる認	

知処理の差」など、より絞った点から切り込んでも良い。あるいは教育の場、医療の場、産業の場、大学生・高校生・小中学生の現状などから調べても良い。「キーワードを変える」「キーワードを組み合わせる」等、工夫しよう。なお、キーワードを組み合わせる場合は、語と語の間に1字分スペースを入れること。(例「スマホ脳〇小学生」)

記事のタイトル	
著者・作成元	
記事の公開年月日	
URL	今回は省略 ※引用参考文献に記載の必要があるため、必ず控えておく
分かったこと	
情報の信頼度の高さをチェックしましょう。 高い ・ 低い	

様々な検索ツールを利用して気づいたことを振り返ろう。

--

※Google や Yahoo!検索の際は、情報の信頼度を意識しよう。次の視点で見ると良い。

- ・ 誰がそのページを作っているか。
- ・ ページの目的が営利目的でないか？ 広告が多くないか？
- ・ その情報はどこから得られたものか。「出典」が明示されているか。
- ・ 制作者の連絡先（メールアドレス・所属・氏名等）が明記されているか。
- ・ 作成年月日が明記されているか。更新されているか。

記事公開日が記されていない&著者が不明なサイトは分かりやすくても信頼度は低い。また記事の作成日にも注目すること。

**調べときには必ずこれをメモしよう！ ※メソッドp177「⑤インターネット上の資料」**

1 記事のタイトル 2 公開日 3 著者・作成元 4 URL 5 自分がアクセスした日

※探究を根拠あるものとするために、参考に為たウェブサイト（オンライン文献）は必ず記録すること。ネット上の記事は削除される場合があるため、プリントアウトや記事を PDF 保存しておくこと。

#### 4 自分の興味・関心を、キーワードから引きだそう

研究テーマを決める上で欠かせないのは「自分の興味・関心がなにか」を知ることです。そのためには「印象に残った言葉」や「よく目にする言葉」を掘り下げていくと良いでしょう。これらの言葉は自分の課題研究における「キーワード」となります。この「キーワード」は研究に必要な情報収集をする上でとても大切なものです。特にネット検索をする際は、目的の情報にたどり着けるかはキーワード次第です。

【キーワードの例】※ここに挙げた意外にもたくさんあります。

自然科学	スマート農業・IoT (モノのインターネット)・脱炭素社会・ダイオキシン汚染・情報セキュリティ・顔認証・バイオマス・デジタルデバイド・核ごみ・太陽光発電・断熱・温暖化・マイクロプラスチック・生分解性プラスチック・ゲノム編集食品・遺伝子組み換え食品・海洋酸性化・培養肉・外来生物・スペースデブリ・里山・小惑星衝突・ウナギ・マグロ資源問題・田んぼダム・気候変動・再生可能エネルギー・燃料電池・災害の激甚化 <small>げきじん</small> ・ビッグデータ・自動運転・VR・AR・水素エネルギー・サイバーテロ・サイバー戦争・水銀フリー <small>えき</small> ・災害予測・天体 (天文)・地層・化石・異常気象・地震予知・遺伝子編集 (ゲノム編集)・ワクチン・免疫・バイオシメティクス・生物濃縮・光化学スモッグ・原子力発電・EV・燃料電池車
医療福祉	障がい者福祉・包括的ケア・ソーシャルワーク・ACP (アドバンス・ケア・プランニング)・終末医療・老老介護・健康寿命・認知症ケア・ヤングケアラー (子どもの介護)・バリアフリー・ユニバーサルデザイン・薬物依存・災害医療・感染症・孤独死・オーバードーズ・訪問医療・生活習慣病・出生前診断・内密出産・匿名出産・エンハラスメント・安楽死・尊厳死・自殺予防・代理母・赤ちゃんポスト・里親制度・受刑者の社会復帰・ドメスティックバイオレンス・パンデミック・保育士や介護士の雇用
人文社会科学	恥の文化・ムラ意識・同調圧力・LGBT・格差社会・子どもの貧困・女性の貧困・同性婚・選択的夫婦別姓・闇バイト・若者の政治離れ・18歳成年・ポピュリズム・民主主義の危機・社会の分断・ヘイトスピーチ・ヘイトクライム・フェイクニュース・虐待・難民問題・インクルーシブ教育・生涯学習・不登校・キャッシュレス決済・エシカルファッション・「アップサイクル・リサイクル」・フードロス・防災・減災・災害弱者・スマートシティ・コンパクトシティ・プラットフォーム・核の傘・Ma a S・安いニッポン・首都機能移転・「公助・共助・自助」・外国人技能実習制度・アニマルウェルフェア・ESG投資・限界集落・消滅可能性都市・移住・やさしい日本語・インフラの老朽化・耕作放棄地・地方交通の維持・高齢者の交通事故・地方消滅・空き家問題・多死社会・無縁社会・インバウンド・エッセンシャルワーカー・フードマイレージ・DX・パーチャルウォーター・ターゲティング広告・ハラール・多文化共生・過労死・働き方改革・動物殺処分・メディアリテラシー・ゲーム依存・スマホ依存・スマホ脳・スマホ認知症

課題1 上のキーワード一覧の中には、あまりよく知らない言葉や初めて目にする言葉もあるはずだ。そうした言葉を3つ選び、調べよう。※メソッド p163 参照

調べた言葉 意味 (定義)
調べた言葉 意味 (定義)
調べた言葉 意味 (定義)

探究をする中で「知らない言葉」と出会うだろう。「言葉は世界を広げる窓」。調べる習慣をつけよう。

**課題2** 気になるキーワードを1つ挙げ、それについて複数のツールを用いて調べよう。

- ・ 2つか3つのキーワードを組み合わせる「&検索」を行おう。得られる情報の方向性が絞られる。
- ・ 読んだ文章の中で「印象に残った言葉」や「よく目にする言葉」が他にもあるはずだ。それが「キーワード」である。メモを取ろう。

① 気になるキーワードについて Google を用いて調べよう。

選んだキーワード	
用いた検索ツール	Google
記事のタイトル	
著者・作成元	
記事の公開年月日	
URL	
記事の中のキーワード（印象に残った言葉・よく目にする言葉）	
記事を読んでわかったこと（簡潔に書こう）	
※疑問に思ったこと・興味を持ったこと（重要）	
選んだ情報の信頼度      高い      ・      低い	

② キーワードについて「朝日けんさくくん」を用いて調べよう。

選んだキーワード	①のキーワードをさらに掘り下げよう！
用いた検索ツール	朝日けんさくくん
記事のタイトル	
著者・作成元	

記事の公開年月日	
記事の中のキーワード（印象に残った言葉・よく目にする言葉）	
記事を読んでわかったこと（簡潔に書こう）*5W1Hを意識してまとめよう	
※疑問に思ったこと・興味をもったこと（重要）	

③キーワードについて「GoogleScholar」を用いて調べよう。

選んだキーワード	2-1~2-3をさらに掘り下げよう！
用いた検索ツール	GoogleScholar（グーグルスカラー）
記事のタイトル	
著者・作成元	
記事の公開年月日	
URL	
記事の中のキーワード（印象に残った言葉・よく目にする言葉）	
記事を読んでわかったこと	
※興味をもったこと・疑問に思ったこと（重要）	

④キーワードについて「電子政府（e-gov）」を用いて調べよう。

選んだキーワード	①②のキーワードをさらに掘り下げよう
用いた検索ツール	電子政府（e-gov）

記事のタイトル	
著者・作成元	
記事の公開年月日	
URL	
記事の中のキーワード（印象に残った言葉・よく目にする言葉）	
記事を読んでわかったこと	
※興味をもったこと・疑問に思ったこと（重要）	

## 5 グループ研究で研究テーマを決めよう

これから先はグループ研究を行います。グループ研究の良さは「メンバーと相談しながら研究ができる」「分担して調査ができる」点です。一方で「必ずしも自分の興味/関心に合致しない」「グループ内の温度差」等の悩みも生じます。きちんと意見を述べ合うこと（単に“相手に合わせる”のではなく“異なる意見を建設的に延べ、議論し合う”）が大切です。

(1) 自分の興味のある分野を2つ選ぼう。 1 科学（実験） 2 環境 3 教育 4 医療・福祉 5 地域 6 国際
(2) 自分の興味のあるキーワードを3つ挙げよう。
(3) どんな研究をしたいか、現時点での気持ちを書こう。

では、いよいよグループ研究のテーマ設定に入っていきます。テーマ設定は、これからのすべてを左右する大事なプロセスです。前回までの学習で、自分の興味関心を広げ方向性を考えてきました。グループでそれらを共有し、さらに具体的に絞っていきましょう。

**課題1** 自分の考えたテーマとなぜそれに興味を持ったのかを話す。(1人1分以内)

※大半がやりたいことはまだぼんやりしていると思う。それでOKだ。今の気持ちをしっかり言葉にしよう。言い終えたら拍手を！

**課題2** 扱うテーマを決め、「クエスチョンマッピング」でテーマを具体化していこう。具体化したテーマが「研究テーマ」となる。その際、次の4つの視点を持つよう。

- 1 みんなから疑問がでるか。課題や問題点がたくさんあるか。→課題解決の視点を持つよう！
- 2 資料が集められそうか。
- 3 「外部インタビューもしくはアンケート調査」ができそうか。or「実験」が可能か。
- 4 研究テーマは具体的か。(大テーマ→話し合い→具体的な研究テーマ)

今回のグループ研究では「文献調査」の他に「インタビュー」「アンケート調査」「実験」のいずれかを必ず各班組み込んでもらいます。それを念頭に話し合いをしましょう。途中分からないことが出てきたら調べましょう。話し合う→分からなくなる→調べる→話し合う……この繰り返しの中で、漠然としていたテーマが具体的になっていきます。

**【班テーマを決める手順】**

- ① 大テーマを決める 例：環境問題 教育問題
- ② 地域や対象、方向性を絞る 例：河川の汚染問題 小・中学校の不登校問題  
→ここで一度、クエスチョンマッピングを行う。  
(例) 河川が汚染される原因にはどのようなものがあるのだろうか？  
→被害の実態は？ 対策は？ ……等、どんどん広げていこう
- ③ 問題の方向性を絞る 例：山鹿の河川におけるマイクロプラスチック問題  
不登校児童を抱える保護者のサポートのあり方
- ④ 話し合い例①②を読む。「課題研究に向かないテーマ」を読み、自分たちのテーマが大丈夫か検討する。OKならば③のテーマを元に、5W1Hマップを作成し、問いを立てていく。再検討が必要な場合は、もう一度①からやり直す。

**【補足1】「③問題の方向性を絞る」際には、**

- 1 みんなから疑問がでるか。課題や問題点がたくさんあるか
  - 2 資料が集められそうか。
  - 3 「インタビュー (Zoom等でのインタビュー可)」ができそうか。or「実験」が可能か。
- の視点が必要だ。まずは資料が集められそうか、分担して調べながら、問題の方向性を絞っていこう。
- また、テーマ設定が難しい時は、新聞を読もう。この時期におすすめなのは紙媒体の新聞だ。図書館には「朝日新聞」「毎日新聞」「日本経済新聞」「熊本日日新聞」がある。各社おすすめだが、熊本県の取組が詳しく掲載されているのは熊本日日新聞、企業の取組等の掲載が充実しているのは日本経済新聞である。ぜひ、読み比べてみよう。



補足：近年多いのは「アプリ開発」で何でもかんでも解決しようとする研究です。アプリを開発するには莫大な資金が必要。また、高校の学習範囲を超えた専門知識も必要です。安易にアプリに飛びつくのではなく、①既存のツールを活用する ②他の視点からの探究を考える のどちらかにしましょう。

【話し合いの例①】 文献調査+インタビュー&アンケート

A さん：みんな「食」に関心があるみたいだね。このままだと広すぎるからテーマを絞っていきな  
きゃいけないけど、どうする？

B さん：「山鹿のおいしいもの」ってテーマでお店の特集したら？ スイーツ食べたい！

C さん：「それだとただの店の宣伝じゃん。『問題点』が出ないよ。真面目にやろうよ」

D さん：「今さ、”食 問題”で検索したら”フードロス”って出てきたよ。それは？」

A さん：「あ、最近、よく聞くよね！ 問題点も見つかるし、資料もたくさん集められそう」

B さん：「インタビュー先、見つかるかな？」

C さん：「朝日けんさくくんで調べたら、記事の中に”子ども食堂とフードロス”があったよ。単  
に”ゴミ”として廃棄されたものを、子ども食堂で有効活用するの。」

D さん：「山鹿にも子ども食堂、あるよね！ 山鹿の子ども食堂でフードロスについての取り組み  
をインタビューしたら研究になりそう！ それに私、子どもにも興味あったんだ」

B さん：「いいね。私、この間、テレビで畜産家や漁師さんがフードロスの取り組みをしていたの  
見たよ。ゴミにするんじゃなくて、商品として活用するの。山鹿の畜産家さんや、他の  
農家さんに聞いてもいいかも」

A さん：「いっぱい取材先も見つかりそうだね。鹿本高校生にもアンケート取ろうか？ 『子ども  
食堂や農家さんのフードロスの取組を知っていますか？』って」

D さん：「『アンケートは対象と目的が大事だ。それを知っているかどうか、鹿本高校生に調査する  
必要が本当にあるのか？』って、先生が言ってたよ。それにアンケートは量的調査だから、  
テーマ設定がぼんやりしている私たちの研究には向かないんじゃないかなあ。やるな  
ら言葉を集める質的調査のインタビューだよ」

A さん：「そうだね。単に知識の有無を聞くアンケートに意味はないよね。じゃあ鹿高生へのアン  
ケートは止めて、外部へのインタビュー調査をしよう。相手の方がインタビューの時  
間が取れない場合や、遠方でインタビューに行くのが難しい所は、ZOOMインタビュー  
をしよう。テーマは”山鹿のフードロスの取り組みの現状～アイデアと課題”にしよ  
うか」

全員：「賛成！」

B さん：「じゃあ、役割分担していこう。私、”朝日けんさくくん”で「子ども食堂」のフード  
ロスの取り組み調べるから、Aさん、朝日けんさくくんで「農家や畜産家フードロス」調べ  
てみない？」

C さん：「じゃあ、私、電子政府で行政（熊本県・山鹿市）の取組や農家の実態を調べるから、Dさ  
ん、電子政府で子ども食堂の取り組みの記事がないか、情報集めてみて」

A さん：「集めた情報、今から共有ドキュメント作るから、そこに記事のタイトルを貼ってね。た  
とえば新聞だったら”記事の見出し+朝日新聞+何年何月何日”電子政府なら作成者、公  
開念、記事のタイトル、URL、アクセス日。詳しくは課題研究メソッドのp177の新  
聞、インターネット上の資料の書き方を見てね。これ、さぼると後が面倒だから、ちゃん  
としよう」

全員：「了解！ ワクワクしてきた！ がんばろう！！」

## 【話し合いの例②】 文献調査＋実験

A さん：みんな「外来種」に関心があるみたいだね。このままだと広すぎるから、テーマ絞っていきな  
きゃいけないけど、どうする？

B さん：「いろいろ調べたら今、菊池川にはブラジルチドメグサがいっぱい生えて、困ってるみたいなん  
だよ。でも、チドメグサは、止血作用や解毒、腫れ物などの炎症を抑える効用があるから、  
薬を開発すれば、“邪魔な外来種”が”役立つもの”として有効活用できるし、駆除の費用も  
抑えられるし、”三方良し”で素敵じゃない？」

全員：「それ、めちゃくちゃいいね！ ”邪魔なものを有効活用”ってアイデアがすごい！」

C さん：「あ…でも、高校生で薬の開発できるかな…」

D さん：「薬の開発ってさ、費用が億単位でかかるって聞いたことある……なんか法律もいっぱいクリ  
アしなきゃいけないみたいだし難しそうだよ？」

A さん：「そうかあ…だけどアイデアは素敵だよ。なんとかして生かしたいよね。切り口を変えて、テ  
ーマにできないかなあ？」

C さん：「あ、今、検索したら、チドメグサ、お茶にできるみたい。薬じゃなくてお茶ならいける？ ハ  
ーブティーの作り方とかネットに載ってるし…」

B さん：「私達で食べるの？ 怖くない？ 副作用とかさ…」

D さん「私も今、検索したけど、チドメグサ科の”アマゾンチドメグサ”は、水質浄化作用もあるし、  
血圧上げるとかで、お茶にしてハーブとして活用されているよ。大丈夫じゃ？」

B さん：「でもそれ、アマゾンチドメグサでしょ？ 私達がしたいの“ブラジルチドメグサ”だよ。同じ  
カエルでも、アマガエルとウシガエルじゃ全然違うじゃん！」

C さん：「うーん……あ！ 検索したらブラジルチドメグサをお茶にして食べてる人いるよ？」

A さん：「ネットの情報を鵜呑みにするの怖いから、ブラジルで、どんな活用法があるか、グーグルや  
グーグルスカラー、電子政府を使って調べてみようか。ちゃんと信頼できるサイトで調べてみ  
て、食用として使われていたら、ブラジルチドメグサをお茶にして、実験やってみない？」

B さん：「うん、いいかも。理科の先生にもちゃんと相談しながらしよう！」

D さん：「そうだね！ 相談大事だよ。SSHだから大学と連携して実験してる先輩もいるみたいだ  
し、私達も連携できたら、なんかかっこよくない？」

A さん「じゃあ、”菊池川の邪魔者・ブラジルチドメグサの有効活用”にしよう！ 今から調べること  
の役割分担していこう」

B さん「私、Cさんとグーグルスカラーで、食べたりできるか調べてみる」

D さん「じゃあ私、Aさんと電子政府つかって調べるね」

A さん「調べたら、URLをみんなでこのドキュメントに貼って共有していこう。手間かかるけど記事の  
タイトル、出典、URLを書いてね。詳しくは課題研究メソッドのp177の新聞、インター  
ネット上の資料の書き方を読んでね。これ、さぼると後が面倒だから、ちゃんとしよう」

全員：「了解！ がんばろう！」

この例は、鹿本高校生の話しあいで決めたテーマを元に作成しました。実際はここまで来るのに数か  
月をかけています。意見を出し合い、分からないことは調べながら考えていきましょう。

## 6 高校生の課題研究に向かないテーマとその解決策

### ①領域が大きすぎて手に負えないテーマ

「宇宙について」「インターネットについて」「資本主義と社会主義について」といった大きな分野、また「心とは何か」「正義とは何か」といった大きすぎる問いは、一年間の課題研究では扱いきれません。

→こういった大きな分野に関心がある場合には、その中の特に何に興味があるのか、何を扱いたいのか、対象を絞っていくことで、良い研究テーマになっていきます。

### ②HowTo (ハウツー) モノのテーマ

中高生が陥りやすい方針です。「どうすれば英語が得意になるか」「どうすればダイエットに成功するか」「どうすれば記憶力がUPするか」「効果的な学習方法は」といったテーマは避けましょう。それらの目標が実現できるかどうかは、個人の努力や素質・運に任される場合が多いからです。ダイエットやの商業では成功例をたくさん紹介しますが、それでそれらの有効性が実証できた訳ではありません

→こうしたものに関心がある場合は、客観的な回答が得られそうな問いに、考え直しましょう。

→「みんなから愛される絵とは」「みんながリラックスできる音楽とは」というテーマも避けましょう。人それぞれ感性は違うので、独りよがりな結論になってしまいます。

### ③現在進行形のテーマ

現在人気のあるアイドルや SNS などのネット上で進行している事柄は、資料的に追い切れません。新聞、雑誌、ウェブなど、日々入ってくる情報を追いかけるのは無理というものです。

→こうした分野に関心があるのなら、まともな単行本が出版されている範囲の問題を扱います。

### ④すでに解明されているテーマ

「飛行機はなぜ飛ぶのか」など、すでに解明されている問題はテーマになりません。「自分が知らないから調べる」のは、テーマ設定の前段階だからです。

→原理を学んだ上で、模型飛行機を設計・製作するというプロジェクト型の研究ならあってもいいと思います。

### ⑤未来を予測・予想するテーマ

「これからの日本の経済はどうなるのか」「日本の農業の未来」「次に流行する漫画は」などもテーマになりません。未来予測は論者によって何とでも言えてしまうからです。

(例)「薬物が広がる日本はどうなるのか」

→わかりません。なぜ薬物汚染が広がったのかについての分析と対策の提示なら可能です。

「世界の民族問題に終わりはあるのか」

→残念ですがおそらく終わりません。しかし、具体的な民族問題を取り上げ分析し、解決策を示唆するような方針ならありうるでしょう。

以上のように、先行研究や現在のデータがあり、洞察が可能なものに考え直しましょう。

### ⑥高度に専門的なテーマ

最先端の技術や高度な問題を扱うのも、専門的な知識が必要となります。たとえば「相対性理論」などです。正確な理解が難しいので、その分野の概略をかじるだけで終わってしまいます。

→高校生としてどうすれば研究が可能になるのか考える必要があります。

小笠原喜康, 片岡則夫 (2019). 『中高生からの論文入門』. 講談社現代新書. pp. 52-56 を参考

いかがだったでしょうか。「自分のテーマは研究にならない」そう感じる部分も多かったかもしれません。研究テーマは先行研究がある程度存在し、人々の行動について洞察がしやすく、自分たちで調査・実験が可能なものであることが大切です。けれども最初は誰もが「テーマが大きすぎる・専門的で高校生には扱えない」「ただのハウツー、努力次第」など、さまざまなツッコミを先生から受けることでしょう。

しかし、それは皆さんの「興味がまちがっている」ということを意味しているわけではありません。テーマを絞ったり、視点を変えたり、使う言葉（用語）を改めれば、今の興味関心がテーマとして生きてくる可能性は十分にあります。

誰しも最初のスタートは「調べ学習」です。興味があるのなら、読書をし、その分野の知識を深めましょう。その中からやがて「問い＝テーマ」が見つかります。最終的なテーマが見つかるのは、かなり時間が経過してからです。まずは「(仮) 問い＝テーマ」を決め、調査をしていく中で「問い＝テーマ」を絞っていきましょう。研究テーマは「決まるもの」ではなく「決めるもの」。自身の興味関心を掘り下げた上で、最終的には「これをやろう！」という思い切りが大切です。

## 7 リサーチクエスチョンを元に研究手法を決めよう

さて、いよいよ研究手法を決めていきます。その際、忘れてはならないのは「なんのために調査をするのか？」という目的です。「先生に言われたから」「宿題だから」では相手に大変失礼です。本質的な目的をきちんと持ちましょう。目的がしっかりと「リサーチクエスチョン（研究全体で明らかにしたいテーマ）」と「仮説（リサーチクエスチョンに対する仮の答え）」が出てきます。「仮説」が立つと、それを立証するための調査項目が見えてきます。自ら疑問を持つこと。色々調べること。分かったことを比較・分析し、考察することが大切です。おのずとたくさんの文献を読み、調査を進めることになります。

- |  |
|--|
| <p>① 探究とは<b>問い→仮説→調査→結果の分析・考察</b>である。</p> <p>② <b>文献調査の広さ・深さは、探究の「質」を決定する。</b>まずは本を読もう！</p> <p>③ <b>文献調査＋インタビューもしくはアンケート、または実験</b> を組み込む</p> |
|--|

(例)「山鹿市に子育て世帯を移住させたい」

→山鹿に子育て世帯が移住するために必要な施策は？ (RQ)

→山鹿に子育て世帯が移住するためには〇〇が必要である (仮説)

文献調査

- ①山鹿市の取り組みを電子政府と市HPで調査
- ②様々なツールで移住が成功している市町村の取り組みを調べる。(成功事例調べ)
- ③移住を成功させるための論文を Google Scholar で調査。
- ④移住に関する関連図書を図書館で借りる。

調査の中から「問い」と「仮説」を立て、それに基づきフィールドワークを計画。



※仮説はなるべく複数立てよう。

フィールドワーク（インタビュー・現地調査・アンケート・実験等）

- ①山鹿市にインタビュー
- ②移住をサポートしている民間企業や団体にインタビュー
- ③実際 移住した人に、移住した感想・良かった点・不安な点・課題などをインタビュー

このように複数の調査を実施し、結果を比較・分析していく中で、研究は深まっていきます。

なお、調査は1回で終わることはなく、複数の手法を組み合わせたり、同じ手法でも対象や条件を変えて回数を重ねる必要があります。

## 4 調査方法

### インタビュー調査（取材）編

#### STEP 1 アポを取ろう！（※アポ…アポイントメントの略）

アポ取りとは、訪問先に取材の予約を取ることです。

##### アポ取りの前に

- ①訪問先がどんなことに取り組んでいるか、下調べをしよう。
- ②取材目的をはっきりさせよう。
- ③訪問先の情報や取材目的を書いた紙とメモを用意して電話をかけよう。
- ④すくなくとも最低限、取材希望日の10日前には電話をかけよう。

（例）A事業所に取材に行きたいと思い電話をかけた。しかし、電話をかけると「どんなこと聞きたいの？何を調べたいの？目的は何？あ～、それ、うちではやってないよ。他をあたったら？」と言われ断られてしまった。

訪問先について事前に調べておかないと、上記のような失敗が起きます。相手も仕事をしながらの対応。必要性が薄い取材は、相手にとっても迷惑になります。また、直前の電話は相手にとっても負担です。十分な余裕をもって電話をかけましょう。

※なお、中学校・小学校に電話をかける際は、事前に鹿本高校の管理職から先方に電話をかける必要があります。そのため、分野別担当者（もしくは担任）に相談しましょう。

#### 誰にインタビューすればいいの？～テーマのキーパーソンの探し方～

（例）山鹿市の農業が抱える〇〇問題についてインタビューをしたい。

A班は山鹿市の農業問題について興味を持ちました。文献調査のし、山鹿市が題している農業統計を入手、農家戸数、農業生産、山鹿市が行っている農家への支援などもある程度詳しくわかりました。新聞のデータベース（朝日けんさくくん）や図書館の熊本日日新聞にも目を通し、農家を取り

上げた記事も複数見つけることができました。文献調査をする中で「農業の問題」にはいろんな課題があることを知り、なかでも〇〇問題についてA班は関心を持ちました。この問題については、文献や資料の中でも触れられていますが、一般的な話以上のことはわかりません。そこで、聞き取り調査をしたい、と思います。でも、一体誰に聞けばいいの？ A班の中には農家の知り合いはいません。

皆さんはどうやってインタビュー先を探しますか？ 考えてみましょう。

〔解答例〕

①行政の人に聞く。

行政の農政担当の課に行って話を聞く。行政は情報の宝庫。地域の情報を集めるのは、行政の仕事の1つです。ただし、ここで聞けるのはあくまでも「行政視点で捉えた地域の〇〇問題」。それは当事者が抱える問題とは異なる部分があるかもしれません。

②農協、農家に聞く。

農家の知り合いがいなくても、農協があります。農協とは農業協同組合のことで、農業者（農民又は農業を営む法人）によって組織された組織です。まずはそこに電話をしましょう。農協や農家の誰に話しを聞けば良いのかは、「行政のインタビューに行った際、行政の方に紹介してもらおう」「農協に電話して詳しい人を紹介してもらおう」という方法があります。

インタビューは「誰に聞くのか」が大切になります。

ケース・バイ・ケースなので決まったやり方はありませんが、取材を重ねていくうちに、次第にキーパーソンが誰なのかが浮かび上がってきます。

それぞれのテーマで、インタビュー先がわからない時は「〇〇組合」「〇〇協会」等を探してください。

**地元の商工会議所**（←商工業の改善や発展のための活動をしている公益法人。一定地区内に商工会議所が組織されていて、商工業者によって運営されている）

**山鹿市のNPO/公益法人/社会的企業一覧ページ**……「山鹿 公益法人」で検索。一覧が出てくる。医療・福祉・保育・農業・水産……いろんな団体がどのような目的で活動しているかが分かる。

## STEP 2 電話をかけよう！

事前準備が整ったら、いよいよ電話。以下、会話例を示すので参考にしましょう。

自分		相手	
1	もしもし「〇〇」さんでしょうか。	2	はい、そうです
3	こんにちは。私は鹿本高校〇年の鹿本太郎（フルネーム）と申します。お忙しいところをすみません。 夏休みの課題研究で〇〇について話を伺いたいのですが、どなたかご担当の方はいらっしゃいますか。	4	はい、今、おつなぎいたします。
5	ありがとうございます。	6	〇〇です。お電話変わりました。
7	こんにちは。私、鹿本高校〇年の鹿本太郎と申します。お忙しいところをすみません。 今回、総合的な探究の時間の課題研究で「△△△」について調査をしています。そこで、御社 <sup>おんしゃ</sup> 取材したいと思い、電話をかけさせていただきました。可能でしょうか。	8	A 可能です。（→9 Aに進む） B 検討します。（→9 Bに進む） C 残念ながら弊社 <sup>へいしや</sup> ではそのような取材は受け付けておりません（→9 Cへ）
9 A	ありがとうございます。 日時は〇月〇日〇曜日の午前・午後〇時が希望です。〇人でお伺いしようと思えます。ご担当の方はどなたになられますか？ 後日改めて質問票を、ご担当の〇〇様宛にメールでお送りしたいと思います。 メールアドレス・ ご担当の方の氏名（漢字フルネーム） 部署・役職名 を教えていただいてもよろしいでしょうか。	10 A	大丈夫です
1 1	本日はお忙しい中、時間を割いて頂きあ		



A	りがとうございました。失礼します。 (相手が電話を切るまでこちらからは切らない)		
9 B	それではいつごろまでにお返事をいただけますか？ ※学校に電話連絡が来る場合は、自分の学年・クラス・担任名を相手側に伝えておく。 ※メールでのやりとりが可能であれば、自分のGメールアドレスを相手先に伝える。	1 0 B	○月○日までには返事を致します。
1 1 B	わかりました。御連絡お待ちしております。本日はお忙しい中、時間を割いて頂きありがとうございました。失礼します。 (相手が電話を切るまでこちらからは切らない)		
9 C	本日はお忙しい中、時間を割いて頂きありがとうございました。失礼します。 (相手が電話を切るまでこちらからは切らない)		

### STEP 3 メールで正式に取材依頼と質問票を送ろう！

#### 取材依頼・質問票とは

アポを取り終えたら、取材依頼メールと質問状をできるだけ早く相手先に送りましょう。

取材依頼メールは、電話での約束を実際に文章化して相手に確認をしてもらうもの。そのメールに添える質問票は、自分たちの質問をリストにしたものです。

特に質問票は、相手が君たちの取材の目的や取材内容を把握するだけでなく、当日、この質問票に沿って話しを進めて下さったり、資料を用意してくださったりするので、大変重要です。きちんと作成しましょう。ポイントをもう一度おさらいします。

#### ①研究テーマ（仮説）を元に、訪問目的を明確にする

何のために取材するのか、何を明らかにしたいのか、目的を元に②以降が決まります。「仮説」が調査の方向性を決定していくので大切にしましょう。なお、仮説は複数立てること。

#### ②質問を考える。

5W1H…いつ、どこで、だれが、なぜ、どうやって を意識して考えよう

取材当日はこの内容に沿って相手が話しを進めて下さることが多い。よく考えて質問を送ろう。

対面でのインタビューが困難な場合は、「ZOOM」等のIT機器を使う、「書面（メール）で実施」する等の方法があります。ZOOMの場合は資料をもらうことや写真撮影等が難しい場合があります。

また書面で実施する場合は、細かなニュアンスが伝わりづらいため、文言添削がより一層重要になることを覚えておきましょう。

**※インタビューをどこにすれば良いのか分からない場合。**

先ほどの移住の例で②サポート団体③移住した人のツテがない場合は、インタビュー先①山鹿市役所で「移住をサポートしている民間団体」「実際に移住した人」でアンケートやインタビューに協力してくれそうな人がいないか、いれば**紹介してもらおうと良い**。人は繋がっている。探究活動を通して自分たちの世界が広がる楽しさを味わうだろう。**保護者や親戚、兄弟のツテを頼る**のも大切だ。

**【取材依頼メール・質問票の送り方】** メソッドP164にもあるので参考にする

こと

宛先のメールアドレス
件名： インタビューご協力をお願い ※ここを空欄にすると、迷惑メール扱いされてしまい、相手先に届かない
〇〇〇ホテル（相手の所属） 〇〇〇部 （相手の部署）〇〇 〇〇 様（相手の名前）
拝啓 盛夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。 鹿本高等学校〇年の〇〇 〇〇です。 先だっではご多忙な中、課題研究のための取材の申込みをご快諾いただきありがとうございます。ありがとうございました。
〇月〇日〇曜日 〇時より、〇名でお伺いいたします。 メンバーは〇〇〇〇、△△△△、□□□□（フルネーム）です。 当日は下記の件についてお話をお伺いしたいと思います。
【研究テーマ】 〇〇〇〇〇
【研究目的】 (例) 地元・菊池市を若者があふれる元気な町にしたいと考えています。そのためには観光産業がもっと活性化する必要があると考えました。調査の結果、ことが分かりました。そこで「温泉×マラソン」を活用した新たな企画を立ち上げ、町を盛り上げたいと考えています。
【取材目的】 「温泉×マラソン」企画の可能性や実施上の課題を伺いたい。
【質問内容】 1 宿泊客を増やすため「温泉×マラソン」企画を考えています。企画書は別添の通りです。観光の需要と可能性や考えられる課題について率直な考えをお聞かせください。 2 …… 3 ……

研究目的・取材目的を伝えると相手も話しやすい。ここをきちんと書くとみんなの本気度が相手に伝わる

お忙しいところ恐れ入りますが、よろしくお願いいたします。

敬具

熊本県立鹿本高等学校 ○年○組 ○○○○（自分の名前）

※送った質問事項は、ノートに書き込むなどして取材当日持参すること。

## STEP 4 下調べ（事前調査）をしよう！

### （１）インタビュー調査前の下調べの重要性

取材に行く前に、取材に向けた準備をしっかりすることで、訪問先での相手の話をよく理解することができます。取材は原則やり直しできません。しかも理解が不十分な状態で取材を行うと、記録を誤って取ってしまい、事実と全く異なるレポートを作成してしまう可能性があります。以下の例は、実際に起きた間違いです。

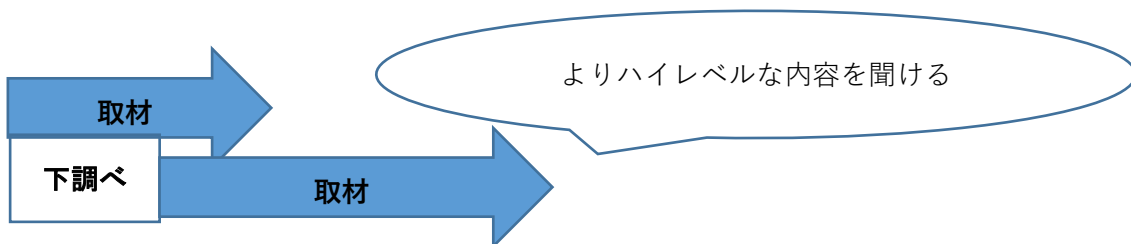
（例）

「日本一」というキーワードで検索。「日本一透明な鶏肉」が山鹿にあることが分かった。

→会社 HP ではなく、Google で「鶏肉・透明」を調べ、誤った知識を入手。

→「鶏肉の透明度が高いのは新鮮でおいしいことの証」と思い込んだまま取材をし、取材過程においても自分たちの間違いに気づくことなく発表。しかし、その会社のコンセプトである「日本一透明」の意味は、「鶏の餌や、薬の投与等の情報を消費者に開示する、『情報の透明性』のこと」であり、肉が透明なわけではなかった」ことが観覧者の指摘により判明。

こうしたことが起きないようにするために「情報の検索方法」には十分に注意を払い、下調べを行いましょう。



### （２）インタビュー調査前の下調べの方法

下調べの進め方は、大きく分けて次の2つです。

- a 自分たちの立てたテーマ（リサーチクエストやRQに対して立てた問い）について調べる。
- b 訪問先について調べる。

### a 自分たちの立てたテーマ（リサーチクエスト）について調べる。

訪問先を決める際の元となった、自分たちのテーマについて基本的な知識を得ておきましょう。そのためには、関連のある本や、新聞（図書館や「朝日けんさくくん」）、ネットで得られる信頼度の高い情報（Googlescalar 等）を参考にしましょう。その他、自分たちのテーマについてテレビで特集が組まれていたら録画をして視聴するなど、あらゆる媒体を活用して知識を深めましょう。

### b 訪問先について調べる。

#### 企業・組合系

ほとんどの企業や組合は、ホームページを開設しています。訪問先を決める時に目を通していてもかもしれませんが、下調べの際はさらに詳しく、隅々まで目を通しましょう。

特にしっかり見て欲しい点は次の2つ。

- ① 企業情報や事業案内（その企業・団体の理念や具体的な事業内容 「(会社・団体名) とは」のようなタイトルで紹介されていることが多い。）
- ② 事業や商品の詳しい内容（「〇〇について」など、さらに別ページにまとめてあることが多い）

企業・団体ごとにHPの作り方は様々です。隅々までしっかり目を通しましょう。

その際、新たな疑問が湧いたら、その都度、メモをして当日質問できるようにしておくこと。特に大事なページは印刷し、ふせんを貼って書き込み等をした上で、取材に持参すると良い。

#### 地方自治体（市役所・町役場）・省庁系（県庁・消防庁・文部科学省など）

ほとんどの地方自治体、省庁もホームページを開設しています。特に自分たちが取材する部署につ

いて調べましょう。（自治体HPの「検索」欄でキーワード検索すると良い。電子政府の横断検索も便

利！）研究内容に関する資料を見つけられることもあるため、しっかり目を通し、疑問点があったら質

問事項に加えること。また、地方自治体や省庁は様々なパンフレットを作成し、いろいろな施設に置い

てあります。そうしたものを集めて目を通しておくのも良いでしょう。また、取材に必要な資料は可能

な限り印刷し、手元に持っておきましょう。

ポイントは「相手が取材で話しそうなこと、それを理解するために必要だと思われること」  
をあ

らかじめ理解しておくことです。得た情報は班全員で共有しましょう。調べる過程で新たな疑問

が湧くはず。しっかりメモを取り、こちらも班で共有しましょう。LINEでグループを作って共有した班もありました。参考にしましょう。

## STEP 5 いよいよ取材！

訪問先は忙しい中、みんなのために時間を作ってくださいています。くれぐれも失礼のないように行動しましょう。訪問先には5分前には到着すること。遅刻は厳禁です。

### 持って行くもの

- 筆記具  メモ帳（ノート）  ふせん（もらった資料に貼ると便利）  質問票や資料
- カメラ  レコーダー  スマートフォン  生徒手帳  その他必要なもの

### 服装

基本的に制服。相手側から「動きやすい服装で」などの指示があった場合はそれに従う。

### 取材の流れ

①挨拶と自己紹介 ②取材（訪問先の方の説明・自分たちの質問・施設見学など）

#### ③写真撮影

※ポスターやスライド発表の際に使えるよう、たくさん写真を撮ろう。なお、撮影許可をかならず取ること。その際「ポスターやスライドに使用しても良いか」許可を取ること。

※取材の終わりに、「訪問先がどこか分かる場所」で、「自分たちと担当者の方」の集合写真を撮ろう！

### 記録の仕方

※取材日時・相手の氏名・記録者氏名を明記する

#### ①メモやノート

あらかじめ質問内容を書いておき、余白をあけておく。

その余白にメモを書き込む。話すスピードに合わせて書き取るため、簡潔に要点だけ記録しよう。

#### ②資料に直接書き込む

自分たちが下調べで準備した資料や、相手からもらった資料に直接書き込む。

心配な時はふせんに書き込んで貼っておくとよい。

以下、ノートの例。

(例) ○月○日 ( ) 曜日 ○時 訪問先：○○株式会社 ご担当：(役職名) ○○ ○○ 様      記録者：□□□□	
1    どの時期に観光客が多いか	

2 観光客の年齢層	

### ③レコーダーに録音する。

インタビュー内容は、後で文字に起こす必要がある。相手の許可を得て、可能な限り録音しよう。レコーダーを使えば、相手の話を聞き逃しても後で確認することができる。また、工場などで実物や現場を見ている状況で、メモが取りづらい状況下でも、相手の話を記録できる。

しかし、注意点がある。

- 1 録音するから安心し、メモをとっていなかったら、騒音などでほとんど声が聞き取れなかった等のトラブルが起こる場合もある。
  - 2 録音を後で文字に起こすのは、時間がかかる。よって、メモをかならず取って、さらに細かい部分をレコーダーで録音したものを聞いて付け足すようにしましょう
- ※なお、録音する場合はかならず許可をとること。

### ④写真

訪問先によっては施設や設備を見せてくれたり作業工程を見せてくれたりする。ぜひ許可をとって写真をとろう。写真があると、スライドやポスターなど発表もしやすい。

## STEP 6 インタビュー内容を文字に起こし、分析しよう

取材を終えたら、内容を一週間以内に文字に起こしましょう。遅くなればなるほど、記憶は薄れ、曖昧になります。文字に起こしの効果は以下の通り。

- ①メモが不十分で内容把握が出来なくなることを防止する
- ②後日、聞いた内容を全員が簡単に振り返ることが出来る
- ③文字起こしの過程で、情報が整理され、理解が深まる

【先輩の失敗例】

夏休み、あるお店にインタビューを行った。しかし、内容を文字に起こさないままレポートを作成。

↓

冬、外部大会に挑戦することになり、担当者と打合せをする中で、疑問点が複数出てくる。

↓

再度そのお店に調査を行った際、「それは夏にお答えしましたよ」と言われる。

前にちゃんと説明したのになあ……

聞いてなかったんだなあ……



相手は時間を割いて、皆さんのインタビューに応じてくれています。同じ質問を何度もするのは失礼です。一回のチャンスを大切に、最大限に活用しましょう。次は、インタビューの分析方法です。

### **インタビュー調査の分析方法**

#### **手順①音声データをまるごと起こす。**

文字通り、しゃべった内容をそのまま文字にする方法です。最初から重要な部分をまとめようとする、見落としや発言の背景となる前置きや前提が抜けてしまう可能性があります。面倒でも全部文字に起こしたものを作成しましょう。労力がかかりますが、全体を見直せますし、自分の思い込みで大事な言葉を削除してしまうというミスを防ぐことができます。最近は文字起こしのソフトもあります。（「Google 文字起こし」で検索！）ただし完璧に起こしてくれる訳ではありませんので、きちんと読み返し、おかしい部分を自分たちで修正しましょう。ボイスレコーダーを用いた場合でも1週間以内に文字起こしを完了させること。ボイスレコーダーがない場合は、当日もしくは翌日までには文字起こしを行いましょ。

例

生徒A：〇〇のパッケージデザインをこちらに決めた理由を教えてください。

店長：贈答用にも使えるような高級感のあるデザインを考えました。それからレトロな雰囲気を出したいと思って。それからこちらは特産品の〇〇を使用しています。西日本一の生産量を誇るのに、知名度が低くてもったいないです。もっと〇〇のおいしさをいろんな人に知ってもらいたいと思っています。

生徒A：かわいいですね。こちらをもらったら嬉しくなります。どうやってデザインを作られたのですか。制作過程を教えてください。

店長：いろんな商品のパッケージデザインを参考にして、自分たちで作りました。とくに〇〇の配置や色の組み合わせには拘りました。でも、将来的に販路を拡大したいので、プロに相談し、デザインを変えることにしました。コストはもちろんかかりますが、そっちの方が将来性があると考えています。

生徒A：新しいデザインのコンセプトをお聞かせください……………

#### **手順② 使われた言葉をマッピングする。(キーワードマッピング)**

メソッドp40のキーワードマッピングは、インタビュー調査の分析にも有効です。インタビューにおいて、ある言葉がどのような意味や関連性で使われたのか、付せんなどを用いて整理すると、分析の際の主観を比較的取り除くことができ、表現の変化に気づくことができやすくなります。また、イ

インタビュー対象者に使用した言葉の意味や定義は、事前に確認しておきましょう。

### 手順③ ①で起こした文章の内容を整理し、ダイジェスト版を作成する。

①のデータはそのまま論文やポスターには使えません。また、理解しやすくするためにも内容を整理する必要があります。手順②の作業を経ることで、より客観的に分析がしやすくなります。まとめた内容はインタビューの回答者に確認してもらい、ニュアンスの違いや発言内容に間違いがないか、チェックをしてもらいましょう。

(例)

- ・パッケージのデザインのコンセプト……贈答用としても使用できる高級感・レトロ感
- ・デザインに込めた思い……西日本一の〇〇の魅力を多くの人に広めたい。
- ・デザイン制作過程…様々な商品のパッケージデザインを参考にしながら、自分でデザイン。
- ・販路拡大のため、デザイナーに新たなパッケージデザインを依頼中。
- ・新デザインのコンセプト……△△△

内容整理の際には、一次情報と差が出ないように注意しましょう。その時は「必要ない」と思っていた情報でも、後々必要になることが結構あります。

### 手順④ インタビューの目的に沿って振り返る。

キーワードマッピングやダイジェスト版ができたら、インタビューの目的に対しわかったことをまとめましょう。これが「考察」の部分になります。新たな発見や、今後調査が必要な項目についても記しておく、論文のまとめに活用できます。

## STEP 7 お礼状を書こう（できるだけ当日・翌日。遅くとも1週間以内には送ること）

取材を終えたら、訪問先に感謝の意を込めてお礼状を書きましょう。送る相手は大人である上に、仕事の合間をぬって取材に応じてくれています。きちんとした内容のものを書きましょう。

取材が終わった後で疑問に感じたことがあれば、お礼状を送る際に尋ねましょう。送り先はやりとりの

メールやいただいた名刺に書いてあるはずです。

宛先のメールアドレス
件名： 取材協力のお礼 ※ここを空欄にすると、迷惑メール扱いされてしまい、相手先に届かない
株式会社 ○○○（相手の所属） ○○○部（相手の部署） ○○ ○○ 様（相手の名前）



拝啓

〇〇の候、〇〇様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

鹿本高校の〇〇〇〇です。

先だっではご多忙な中、課題研究のための取材に御協力いただきまことにありがとうございます。  
しました。

取材をとおして...

取材で感じたことや、自分たちのテーマと照らし合わせてどのようなものを得ることができたかを書くようにする。

今回の取材を元に、研究レポートをまとめたいと思います。

あらためて今回は大変お世話になりました。またこのような機会がございましたらよろしくお  
願いします。

敬具

熊本県立鹿本高等学校〇年

〇〇〇〇（自分の氏名）※複数で行った場合は行ったメンバーの名前をすべて書く。

なお、完成したレポートやポスター、スライドを、後日改めてお礼と共に送り返しましょう。その行動が  
次の探究に繋がっていきます。

## 班の役割分担（例）

グループで研究を行う場合は、役割分担とコミュニケーションが大切です。誰か1人に負担がか  
かってしまわないよう、役割を明確にしましょう。

班長	班員をまとめる。担任とコンタクトをとる。インタビュー先に連絡をし、依頼状や御礼状を作成する。また、取材で得られた情報のまとめや誰が何を調べるか等、仕事の割り振りを行う。大切な役割なので責任感がある人がすると良い。
副班長	班長不在の際の代行とサポートを行う。インタビュー先の連絡や質問状、お礼状作成は班長1人では大変だ。一緒にその作業をする。班長が相談しやすく、信頼できる人がすると良い。

写真	班員の行動や訪問先の写真を撮る。訪問先での班員の様子や施設等、写真として残す。 のちのち発表資料として使うかもしれないので、きちんと細かく撮ろう。
書記	班での話合いの内容や訪問先での録音を行う。録音の復校（文字に起こすこと）を責任持って行う。ここは、一人に負担がかからないよう何名かで分担して行おう。 <u>なおメモはそれぞれの観点が異なるため、1人に任せず全員で取ること。</u>
<p>なお、複数取材をする等の場合、全員がそろわず、班で分かれて取材する場合がある。 （例 4人一緒ではなく、2人、2人分かれて別の場所の取材を行う） その際は、役職にかかわらず、取材する人の中で責任を持って電話連絡や質問状・お礼状のやりとりを行う。誰が送るのか、責任の所在をはっきりさせること。「きっと〇〇がやってくれるだろう、と思って誰もしていなかった」ということがないように。</p>	

## アンケート調査

例えば「山鹿市の病院すべてにインタビューをしたい」という場合、班で手分けすることも困難です。このような場合は「アンケート調査」に切り替えましょう。アンケートは文字だけで表現するため、質問意図が正確に不特定多数の相手に伝わるよう、表現を吟味する必要があります。また、表現によってはトラブルを招きかねないため、複数の先生方に添削してもら必要があります。まずはメソッドp 77～82を読み、「何のために（目的）」「だれに（対象）」「どのような」アンケートを取るか考えましょう。文言を考えたら、下記の手順で文面添削をお願いします。

<p>【校内対象】（鹿本高校生対象）…指導担当者（または担任・副担任）→学年主任 【校外対象】（保護者含む外部）…指導担当者（または担任・副担任）→学年主任→管理職→学校長</p>
--

\*校内・校外ともに文面添削には時間がかかる。余裕を持って計画すること。

またおよそ5回程度は指導担当者の段階で突き返されることも覚悟しておこう。

### 【例1】校外アンケート調査（外部施設）

基本、Formsで作成。相手先によっては紙を希望される場合もある。その際は紙ベースも作成。

- 手順① 作成したアンケートを指導者に提出。指導者は起案→管理職決済→生徒返却
- 手順② 電話もしくはメールでアンケート調査が可能か依頼する。
- 手順③ アンケートを相手先に送付。
- 手順④ お礼状を送る。後日、改めて作成したレポート&ポスター等をお礼状と共に送ろう。

【手順② 依頼メール例】

令和〇年〇月〇日

〇〇〇〇 <sup>おんちゅう</sup>御中 (←会社等、組織に送る場合は「様」ではなく「御中」を使う)

課題研究のためのアンケート御協力をお願い

〇〇の候 (←※時候の挨拶。季節毎に異なる。「時候の挨拶」で調べよう) となりましたが、貴校 (←※会社の場合は「御社」あるいは「貴社」) におかれましてはますます御健勝のほどとお喜び申し上げます。\*電話の場合は時候の挨拶は不要 事前に教師からお願いした方がよい場合もあるので担当者とよく相談を!

現在、私は高校の課題研究において、「〇〇〇」の調査を行っております。この研究では、△△△について明らかにすることが目的です。そこで、〇〇〇にアンケートのご協力をお願いしたいと考えております。ご多用な中、大変恐縮ではございますが、どなたか1名、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。可能であれば、ご担当者のお名前・役職、ご連絡先 (メール等) を教えていただけるよう、重ねてお願い申し上げます。

※この時は、時間的余裕もあり、電話とメールで事前に許可をもらった。直接、アンケートをこの下に記載する方法もある。その際は、より丁寧に目的や動機を書こう。また、必ず相手先に電話を入れ、許可をもらうこと。

(直接アンケート文言をつける場合)

現在、私は高校の課題研究において、「〇〇」の調査を行っております。△△△△したことが研究の動機です。この研究では、〇〇〇明らかにすることが目的としております。そこで、〇〇〇の活動をされている〇〇様 (市役所なら〇〇市役所、会社なら会社名) に以下のアンケートの御協力をお願いしたいと考えております。御協力いただける場合は、ご多忙な中、申し訳ございませんが、〇月〇日頃まで (回答期日を明記。期日は最低1週間以上設けること) ご回答いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

アンケート (←担当者に必ず添削を受けること)

最後に自分の所属・メールアドレス、指導者名をつける

鹿本高校2年〇組 鹿本 太郎 mail:〇〇〇g.bears.ed.jp (メールアドレスを記載)

指導者: 山鹿 花子 (担当者を記載)

【手順③ 送付メール例】

令和〇年〇月〇日

〇〇〇〇 (←相手の所属・役職を書く)

〇〇 〇〇 様 (←漢字の間違いが無いよう事前に確認しておく)

お世話になっております。鹿本高校〇年の〇〇 〇〇です。

この度は突然の申し出にも関わらず、アンケートのご協力をご快諾いただき、誠にありがとうございます。

ご多用の中大変恐縮ではございますが、〇月〇日 (〇曜日) までにご回答をお願いいたします。



・Forms の設定→回答→「回答を収集、保護する方法を管理できます」→「ログインの必須」→「熊本県教育委員会と信頼できる組織のユーザーに限定する」→左にスライドし、チェックを外す

### 【例3】校内アンケート調査（生徒）Forms 作成

手順① 作成したアンケートを指導者提出。指導者は起案→学年主任→生徒返却

手順② アンケート Forms を指導者と共有。リンクをクラスルームに貼ってもらう。

このたび課題研究において、（ ）ための調査を行っております。この研究では（ ）を明らかにすることが目的です。そこで生徒の皆さんのご意見をお伺いできればと思います。ご多忙な中、恐縮ですが以下のアンケートにご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。 ○年○組 ○○○○

#### <設問文のチェックポイント>

- 専門用語・略語は避けて平易な言葉を使っているか
- 主語が入っているか
- 回答者によって解釈が異なるような表現になっていないか
- 回答を誘導するような設問文になっていないか
- 1つの設問文で複数のことを聞いていないか

#### <選択肢のチェックポイント>

- 選択肢に抜け漏れ・重複がないか
- 回答者によって解釈が異なる選択肢になっていないか
- 多くの回答者が「ぴったり当てはまる」と思える選択肢の構成となっているか
- 選択肢の順番に違和感はないか（金額の選択肢は少額→高額の順にする など）

#### 【アンケート・インタビュー共通して重要なこと】

①相手は仕事をしながら答えているネットで入手できる情報ならば、わざわざ調査する必要はない。その人に質問しなければ分からない内容をきちんと尋ねよう。

また中には「多忙のため、高校生のインタビューはご遠慮ください」とHPの連絡先に明記している団体等もある。そうした団体に問い合わせるのは失礼に当たる。

②研究の見通しを持つ。

何を目的に調査を行っているのか、課題意識に基づく「問い」と「仮説（仮の答え）」を考えておこう。見通しなしに実施するのと、見通しをもって行うのとそうでない場合では質が違う。

③アンケートやインタビューで「効果がある（ない）・影響がある（ない）」と回答を得られたとしても、その結果を「=結論」にできない。

次の例を見てみよう。

【アンケート調査項目 Forms 例】こちらは実際に行った外部アンケートの例です。

お世話になります。現在、高校の課題研究において「日本の幼稚園、保育園におけるお遊戯会の変遷と今後」について調査を行っております。この研究ではお遊戯会の変化とその背景、新型コロナウイルス感染症による行動制限が子どもたちに与えた影響について調べ、今後のお遊戯会のあり方を考究することが目的です。そこで保育士の皆様のご意見をお伺いできればと思います。ご多忙の中、恐縮ではございますが○月○日(○)までに以下のアンケートにご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。なお、この結果は課題研究にのみ使用します。ご回答頂いた個人情報やご回答内容は、研究目的以外で使用はいたしません。

鹿本高校○年○組 ○○○○ 指導教諭 ○○○○ 外部の場合、指導者名を必ず記

載！

- 1 保育施設での勤務年数を教えてください。(←この時は昔と今の変化を見るものだったため、勤務年数をお尋ねしました。性別で結果を分析したい場合は性別を、年齢や学年毎の分析をしたい場合は10代 20代 30代……、1年 2年……等、属性を必ず尋ねましょう)
- 2 現在実施されているお遊戯会の内容を教えてください。
- 3 昔、実施されていたお遊戯会と今実施されているお遊戯会には、何か変化がありますか？  
1 おおいにある 2 ややある 3 あまりない 4 ない
- 4 3で「おおいにある」「ややある」と答えられた方に質問です。  
どのような変化がありましたか？ なお、何年前かをおおよその目安でご記入ください。  
(例：20年くらい前は……等)
- 5 3で「おおいにある」「ややある」と答えられた方に質問です。お遊戯会の変化の原因は何だと思われますか。
- 6 お遊戯会をすることで子どもたちにどのような効果が
- 7 保護者がお遊戯会に求めるものについて  
1 おおいにある 2 ややある 3 あまりない 4 ない
- 8 7で「おおいにある」「ややある」と答えられた方に質問です。  
どのような変化がありましたか？ なお、何年前と比べてなのかをおおよその目安でご記入ください。(例：)
- 9 新型コロナウイルスの影響はお遊戯会にはありましたか？  
1 中止した 2 年間中止・今年は実施 3 形を変えて実施 4 通常どおり実施
- 10 9で形を変えて実施した、と答えられた方に質問です。どのような形で実施されましたか。
- 11 しなかった(形を変えて実施した)ことで、子どもたちの成長に何か影響はありましたか。  
ある場合はどのような影響ですか。
- 12 新型コロナウイルスが子どもたちの成長に与えた影響があると感じられますか？  
1 おおいにある 2 ややある 3 あまりない 4 ない

答えやすい質問から配置する  
関連のある質問は続ける等、アンケートの流れを意識する  
質問数が多くなりすぎないように注意する  
質問や選択肢は似たものを挙げないこと

13 12 でおおいにある ややあると答えられた方に質問です。どのような影響を感じましたか？

14 詳しいお話を伺いたいときに、お尋ねできるようよろしければ勤務先をお教えてください。アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート調査は、まず良い点があります。

①山鹿市内の全ての保育施設（26 施設）に調査を行い、17 施設から回答を得ることができた。

地道な調査を粘って行いました。高校生としては十分なサンプル数を取れたと思います。

②自由記述の回答から、興味深い結果を得られた。

記述回答は相手に負担をかけるため、答えてもらえない場合もあります。この時は高校生の丁寧な姿勢で御協力いただくことができました。※しかし、それでもアンケートの自由記述では細かな情報は得られず、状況等を詳しく知るにはインタビュー調査が必要です。

アンケート調査は得られた結果の分析が大切です。

質問 12「新型コロナウイルスが子どもたちの成長に与えた影響」について、回答者の8割が「おおいにある、ややある」と回答がありました。

自由記述回答を見ると「発語の遅れ」「マスクで表情が見えないため、人の感情を読み取る力が育ちづらい」「保育士がマスクを取ると、顔を凝視する・泣き出す」などの影響が見られたようです。

しかし、「大いにある・ややある」というのは保育者の主観に過ぎません。本当に影響があるのかはこのアンケートではわからない(=別の方法で検証する必要がある)点に注意しなければなりません。

このアンケートには以下の課題があります。

・「幼稚園（文部科学省管轄）」「保育園（厚生労働省管轄）」の違いでどのように回答が違うのかが分析できない。

・保育者が着用していたものが「顔が隠れるタイプのマスク（布・不織布等）」なのか「透明なマスク」なのかの差による子どもへの影響が分析できない。

・保育者が影響を感じた児童の年齢が分からない。（0 歳児と 5 歳児では大きく違います）

もしマスク着用による児童への影響を明らかにする研究を行うなら、再度アンケート調査を行う必要があります。その際、

①今回のアンケート調査の中の記述回答の中の項目（発語の遅れ、マスクを外すと保育士の顔を凝視する、感情を読み取れない……等）を選択肢にし、「当てはまるものを全てチェックする」設問を作る。

②①の回答がそれが幼稚園と保育園で違いはあるのか、マスクの種類で違いは出たのか、児童の年齢で差は生じたのか、分析できるような設問を作る。

などの必要があります。

最初から完璧なアンケートを作成するのは難しいです。

得られた結果を元に、問いを立て直し、再調査が必要になる場面も出てきます。

しかし再調査は相手にも負担をかけてしまうため、可能な限り先行研究調査を行い、客観的分析を

するためにはどのような質問項目が必要なのか考えましょう。

## YSP II

### 1 「調査」を Design しよう。

さて、いよいよ課題研究の本丸、YSP II のスタートです。1年の時に学んだ調査スキルをさらに磨き上げていきます。まずは夏に向けてテーマ設定を行い、調査計画を立案します。テーマ設定は YSP I で詳しく述べているため、ここでは述べません。1年生の時は「とにかく興味関心があるものについて調べよう・行動しよう」をメインに調査を行ってきたと思います。2年次は「先行研究調査をきちんと行い、そこから仮説を立て、調査を行う」というプロセスを大事にしていきます。

課題研究では、この調査方法を自分たち自身で考える必要があります。課題研究が上手くいかなかった先輩たちのほとんどは「どうやって調査したら良いのか分からなかった」というものでした。逆に上手くいった先輩たちは「どうやって調査すれば良いのか見えたからこそ楽しく、主体的に行動できた」という側面があります。

高校生による調査は、手法や対象があらかじめ決まっている専門家による調査ではありませんので、この手法でなければならぬ、というのはもちろんありません。しかし、「なんでもいい」わけではありません。明らかにしたい「問い（リサーチクエスチョン）」に応じて、どんな調査が必要か、考える必要があります。調査には数字（数値データ・量的データ）を収集する「量的調査（定量調査）」と、数字以外のもの（言葉、文字データ、質的データ）を集めてくる「質的調査（定性調査）」があります。具体的な調査方法は図1のとおりです。

(図1)

量的調査 (数値・量的データ収集)	質的調査 (数字以外のものを収集)
統計調査	文献・資料調査
質問紙調査 (アンケート調査)	聞き取り調査 (インタビュー調査)
測定 (実験)	参与観察 (研究対象である組織やグループに、調査者自身がそのメンバーとして加わり、自分の目でデータを収集すること)
現地調査 (例: 現地に赴き、水質や地質調査を行う)	現地調査 (例: 祭り等に参加・出店して調査を行う)

「実践自分で調べる技術」宮内泰介・上田昌文を元に

作成

図1のように、それぞれの3つは対象的な関係にあります。

書かれた数字を集める統計調査 ⇔ 書かれた言葉を集めてくる文献・資料調査

書かれていない生の数字を集めるアンケート調査 ⇔ 書かれていない生の言葉を集めるインタビュー調査

見て (実験を行って) 数字を集める測定 ⇔ 自分が参加して言葉を集める参与観察



アンケートの由記述は質的調査の要素がありますが、「短い回答しか得られず詳細が分からない」「熱心な人は記述するが、多くは面倒なため無回答」等、回答が偏ってしまうため、原則量的調査となります。

**調査は1つの調査手法だけでは完結しないもの**です。複数の調査手法を組み合わせることが必要になってきます。「この課題については、まずこの調査を行い、次にこの調査を行う。それぞれの調査でわかる範囲はこういうこと、それでもわからない範囲はこういうこと」といった「調査のデザイン」が重要になります。次の例を元に考えていきましょう。

【例】

**自分が暮らす町の子育て支援の課題について、調査し、報告してください。**

どこから手をつけますか？ まずは「子育て支援」とは何を指しているのか考えてみましょう。

「子育て支援」と言ったとき、子育てサークルをイメージした人がいるかもしれません。また待機児童問題をイメージするかもしれません。働き方改革や、フレックス制の導入、夫の育児休暇をイメージする人もいるでしょう。学習支援を考えた人もいるかもしれません。乳児段階での支援もあるでしょうし、小学校入学前くらいの段階での支援もあるでしょう。共働き世帯なのか、シングル家庭なのか、そこでも必要とされる支援は違うかもしれません。

例では、とくに子育て支援のどういう側面と絞っていないため、まずは「子育て支援」全体について調べる必要があります。

- ・市役所のHPや電子政府（e-gov）で実施されている施策について調べる
- ・他の市町村で子育て支援の成功事例がないか電子政府で調べる。（自分の町と規模や環境が似ているところだとお良い）
- ・先進的な子育て支援を行っている市町村がないか、新聞のデータベースで調べる
- ・子育て支援に関する論文を検索する

文献調査は調査の前段階としてしっかり行う必要があります。その上で、次のような手順で調査の方向性を絞っていきます。

- ・文献から分かったこと、分からないことを整理する
- ・分からないことから「問い」を導き、課題を考える
- ・問いを元に、調査の方向性を絞っていく

生まれた「問い」から、さらに詳しく調べようとすると様々な研究方法が浮かび上がります。

【文献調査】

- ・研究テーマについて書かれた本を読む
- ・インタビューやアンケート調査で尋ねたいことがすでに研究されていないか、さらなる論文を探す

【インタビュー・アンケート調査】

- ・子育て中の保護者に話を聞く
- ・幼稚園や保育園の先生に話を聞く
- ・子育て支援のNPOなどに話を聞く
- ・働き方改革で子育て支援を行っている企業に話を聞く
- ・先進的な子育て支援を行っている市町村に話を聞く

【統計調査】

- ・どのくらいの世帯が子育て世帯で、かつその中のどのくらいの世帯が共働きなのかを統計

で調べる（そうした統計があるかも含めて調査する）

### 〔参与観察〕

- ・子育てサークルの会合等に参加する
- ・学習支援ボランティアに参加する

こうした調査を、どんな順番でどんな組み合わせで行っていけば良いかを考え、順番にやっていくことが必要になります。行き当たりばったりではなく、「先を見通した計画を立てる」ことは勉強同様、探究活動においても大切です。

## 2 調査方法を身につけよう

### 2-1 インターネットによる情報検索

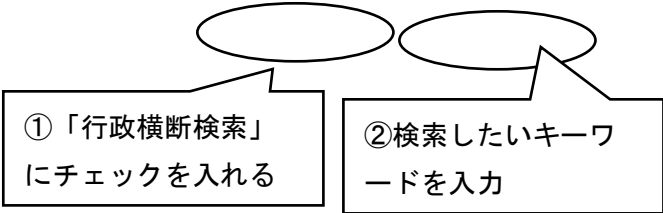
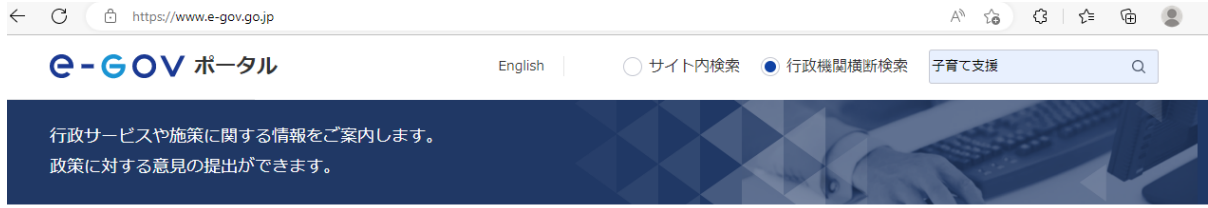
#### ①GoogleScholar（グーグルスカラー）

インターネットで「グーグルスカラー」と入力→「GoogleScholar」をクリック→調べたいキーワードを入力→興味のある論文の右側のPDFの部分をクリックすると論文が表示される

Google Scholar search results for "子育て支援". The search bar shows "子育て支援" and the results list several articles. A callout box with a green border points to the "PDF" link of the first article, with the text "PDF をクリック". Another callout box with a black border points to the PDF link of the second article, with the text "[PDF] ritsumeihuman.com". A third callout box with a blue border points to the PDF link of the third article, with the text "[PDF] ipss.go.jp".

#### ②電子政府（e-gov）

インターネットで「電子政府」と入力→トップ | e-Gov ポータル」をクリック→サイトの上の「行政横断検索」にチェックを入れ、右の検索キーワードに自分の調べたいキーワードを入れる



③J-STAGE

①②で検索をしている最中、J-STAGE に飛ぶ場合がある。J-STAGE は、日本から発表される科学技術（人文科学・社会科学を含む）の情報公開を支援している仕組みのこと。多くの学会誌がこの J-STAGE の仕組みを使って公開され、そのほとんどが論文の中身を PDF で見られるようにしている。

J-STAGE で検索する方法もあるが、グーグルスカラーから飛ぶことの方が多いただろう。ぜひ活用しよう。論文は右側の「PDF をダウンロード」をクリックすれば閲覧できる。





なお、閲覧した論文は必ず「作成者」「公開年（発行年）」「論文タイトル」「URL」「アクセス日」を控えておくこと。（メソッドP177）

**【練習問題】**

現在、人気の温泉施設で温泉が出なくなり、臨時休館に追い込まれる事態が各地で起きています。「温泉県」として有名な大分県でも異変が起きています。温泉の枯渇現象について、①原因 ②枯渇することでどのような成分変化が起こるのか ③周囲の温泉にどのような影響があるのか を調べたいと思いました。

それについて書かれた雑誌記事・論文を探し、重要だと思われるものを3点、手に入れてください。

用いた検索ツール	
検索キーワード	
記事のタイトル	
Web 記事の作成者	
記事の公開年月日	
URL	今回は省略 ※引用参考文献に記載の必要があるため、必ず控えておく
分かったこと	
疑問点やこの論文では分からなかったこと	
用いた検索ツール	
検索キーワード	
記事のタイトル	
Web 記事の作成者	
記事の公開年月日	
URL	今回は省略 ※引用参考文献に記載の必要があるため、必ず控えておく
分かったこと	

疑問点やこの論文では分からなかったこと	
用いた検索ツール	
検索キーワード	
記事のタイトル	
Web 記事の作成者	
記事の公開年月日	
URL	今回は省略 ※引用参考文献に記載の必要があるため、必ず控えておく
分かったこと	
疑問点やこの論文では分からなかったこと	

メモ

## 2-2 本による情報収集

文献調査の第一の方法として、これまでインターネット上の論文検索を学んできました。なぜネットから入ったのかというと、紙媒体の本は、コツを掴んでおかなければ探しにくいからです。

ネットで調べられるものの範囲と、紙媒体の本や専門誌で調べられるものの範囲は異なっています。たとえばコンピュータ関係の情報ならば、紙媒体よりネット上の情報の方が圧倒的に多いでしょう。科学系の論文についても然りです。科学系に関しては、英語論文まで読む必要が後々出てくるでしょうし、人文・社会科学系の探究についても、海外の研究論文を探さなければならない場合は、GoogleScholar で英語論文検索を行った方が、すばやく必要な情報を入手できます。

しかし一方で、ある地域の歴史を調べたいと考えると、おそらくネット上に載っている情報はごくわずかです。人文や教育や社会や法、医療系については本の方が分かりやすかったり、体系的に必要な情報が得られたりする場合があります。たとえばこの冊子を作るにあたって様々な検索ツールを使いましたが、ネットに落ちている情報はごくわずか。一番役に立ったのは本でした。

本を探す時、多くの生徒は「本がありません」と言います。たしかに分野によってはそうかもしれませんが、「探し方が悪い」場合も往々にしてあるのです。

[例 1]

○課題研究について、手法が詳しく書かれている本を探したい。

→本のタイトル『中高生からの論文入門』『実践 自分で調べる技術』

例 1 のように、タイトルには「課題研究」とか「探究活動」という言葉は使われていません。これが本の「探しにくさ」の要因の 1 つです。

[例 2]

○水銀を規制する条約について詳しく調べたい。

→本のタイトル『日本におけるメチル水銀中毒事件研究』

こちらは複数の著者が寄稿している本で、その中の 1 つに「世界の水銀汚染と水俣条約」という論文がありました。タイトルからは「水銀規制に関する条約」があることが分からないため、実際に本を手に取り、目次に目を通す必要があります。

とはいえ、膨大な本を 1 冊 1 冊確認するのは大変ですね。どうすれば良いのでしょうか？ そういう時に助かるのが、図書館にある蔵書検索システムです。

- ①蔵書検索システムで、キーワードを入力
- ②ヒットがあればチェックし、関連しそうな内容であれば、情報を印刷する。（※学校の図書館は印刷できないので、メモをしましょう）
- ③目的の本を探し、目次をチェックする。
- ④その本が役立ちそうであれば、その周辺の本は、目的に合致する本があるため、他の本も

手に取って目次を確認する

※それでも探せない場合は、司書に「〇〇の目的で、〇〇についての本を探しています」と  
お願いすると喜んで探してくださいます。ぜひ、司書に相談してみましょう。

本でなければ探せない情報もたくさんあります。ぜひ、根気強く探しましょう。

### 3 アンケート調査の計画と分析

#### はじめに

論文や本は有益な情報の宝庫です。けれども文献調査だけで調査が終わることはあまり多くはありません。書かれていない生の情報を集めようとするれば、足を運ぶのが一番でしょう。

インタビューについてはP 22で詳しく述べたため、ここでは割愛します。YSP Iでもアンケート調査を実施した人がいたと思います。YSP IIでは、もっと科学的な視点を踏まえて行いましょう。アンケートは基本的に「量的調査」です。つまり「数字」を集めるものです。聞くときはもちろん言葉で聞きますが、最終的にはそれを「数字」に変換し、何が何%である、あるいは2つの事柄の間に統計的な有意差がある、ということを検証するための調査方法です。したがって、基本的に「選択肢」での回答になります。自由記述による言葉の回答を設けることももちろんありますが、面倒なので無回答や詳細の分からない短い回答が多く、結果の分析には不十分な場合がほとんどです。つまりアンケート調査を実施する場合は、「調査対象となる集団・調査の目的が、先行研究調査を行った結果、絞られている」ことが大切になります。

アンケート調査を行う場合、自分のアンケートが無意味なものになっていないか、自問自答しましょう。

#### 無意味なアンケート調査例

A あなたは平和が大切だと思いますか。

1 おおいにそう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 全く思わない

B あなたは男女平等に努めていますか

1 おおいにそう思う 2 ややそう思う 3 あまり思わない 4 全く思わない

まずAはほぼ全員が「1」を答えることは容易に想像ができます。答えが分かりきっている質問をする必要はありません。

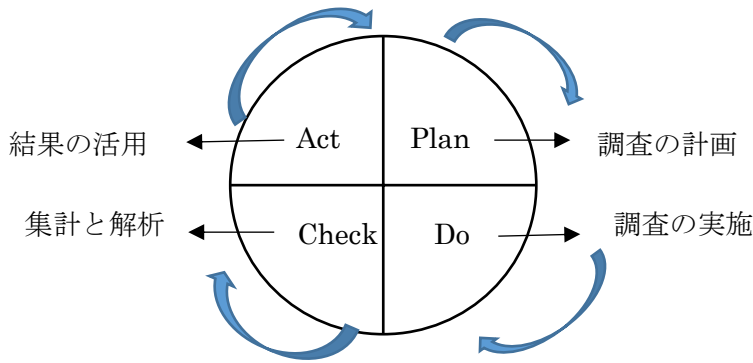
Bは、よくありがちなアンケートですが、①「男女平等」がどういう内容のものを指すのか、曖昧です。また、②「努めている」というのもどういうことを指すのか曖昧で、解釈のばらつきが生じてしまいます。「アンケート調査をしたけれど、結局分析に使えなかった」ということを避けるために、以下のステップを踏みましょう。

#### 3-1 アンケート調査の進め方

アンケートは主として次の4つのステップで進めます。

①計画 (Plan) ②実施 (Do) ③確認 (Check) ④処置 (Act)





## ○計画 (Plan)

まずは計画を立てましょう。計画では次の内容を明確にします。

- ①調査目的
- ②調査の対象となる集団
- ③調査する人数
- ④調査方法の選定 (web か、紙面か、FAX、回覧板、店頭調査等……)
- ⑤調査開始から終了 (アンケート回収&集計) までのスケジュール

## ○実施 (Do)

アンケート調査を実施する段取りは次の4つ。

- ①先行研究調査
- ②質問文と回答欄の作成
- (③予備調査の実施)
- ④本調査の実施

『アンケート調査の計画と解析』内田治を元に作

成

①ここでの先行研究調査とは「実施しようとしているアンケート調査と同じ目的の調査が過去に行われたかどうか、行われているならば、どのような質問をして、どのような結論を出したのか」を調べることを指します。先行研究があった場合は「本当に自分がアンケート調査をする必要があるのか」(場合によってはする必要はない)を検討しましょう。また、先行研究を元に質問文を作成することができるため、必ず行いましょう。

### 練習

男女間の格差が解消されているかどうかアンケート調査を行いたい。国がそうしたアンケートを取っていないか、調べてみよう。

用いた検索ツール	
検索キーワード	
記事のタイトル	
Web 記事の作成者	
記事の公開年月日	
URL	今回は省略 ※引用参考文献に記載の必要があるため、必ず控えておく

②質問文と解答欄の作成とは、いわゆるアンケート用紙の作成のことです。

作成したらまずは自分で下記の項目をチェックしましょう。

<質問文のチェックポイント>

- 専門用語・略語は避けて平易な言葉を使っているか
- 主語が入っているか
- 回答者によって解釈が異なるような表現になっていないか
- 回答を誘導するような設問文になっていないか
- 1つの設問文で複数のことを聞いていないか

<選択肢のチェックポイント>

- 選択肢に抜け漏れ・重複がないか
- 回答者によって解釈が異なる選択肢になっていないか
- 多くの回答者が「ぴったり当てはまる」と思える選択肢の構成となっているか
- 選択肢の順番に違和感はないか（金額の選択肢は少額→高額の順にする など）

<その他のチェックポイント>

- 回答の〆切日は明記しているか
- 自分の名前と共に、指導教員の名前を明記しているか
- f orms で外部に対して調査を行う場合、設定を変更しているか

**Forms の設定変更の仕方（※外部調査の際）**

設定→回答→「回答を収集、保護する方法を管理できます」→「ログインの必須」→「熊本県教育委員会と信頼できる組織のユーザーに限定する」→左にスライドし、チェックを外す

※企業等によっては、情報管理の観点から厳しい規制がかけられており、設定を変更しても「職場のPCからFormsにアクセスできなかった。どうしたら良いでしょうか」と学校に問い合わせがある場合があります。指導教員の名前を必ず明記し、FAXでの回答を可にする、等の対策を取っておきましょう。

③予備調査とは、作成したアンケートを使って、実際に練習のつもりで調査を行うことです。予備調査は質問文や回答文の選択肢の悪さをあぶり出すために行うもので、集計や解析に重点を置くことはありません。高校生で外部に対し予備調査を行うのは、時間的にも立場的にも無理があります。友達に回答してもらうなどして、質問文を推敲しましょう。

## ○確認 (Check)

調査後、回答結果を確認しましょう。ここでの確認とは、アンケートの集計と解析のことです。

アンケート調査の集計には多くの方法がありますが、ここでは次の4つを紹介します。

- ・単純集計…… 質問ごとに回答結果を集計すること
- ・クロス集計…… 2つの質問を組み合わせて集計すること
- ・回帰分析……
- ・カテゴリーウエイト……

他の方法が知りたい人は、専門書を図書館で探してみてください。

## 3-2 アンケート調査の集計・解析の仕方

現在作成中！

## 4 論文の書き方

論文を書く時は、ルールに則って書きましょう。「中身があれば、形式なんて……」なんてことはありません。スポーツにおいてその競技のルールに従ってプレイしなければ退場となるように、論文にも決まりがあります。皆さんありがちなのは、「自分が調べた時系列のまま論文を書く」人です。論文にまとまりがなくなり、十中八九、失敗します。自分が調べた順番と、論文に書く順番は違います。正しいのは「研究の終盤に全体を振り返って、自分のテーマが一つのストーリーとしてまとまるように、順番を入れ替えたり、削除したり、必要な要素を追加したりしながらまとめる」です。

### 4-1 先行研究を元を書く

研究は皆さんだけであるものではありません。「巨人の肩の上に立つ」……GoogleScolarの最初に掲載されている言葉のとおり、多くの先人たちの研究の積み重ねの上に、皆さんの研究が成り立ちます。先人たちの研究を元を書くのですから、きちんと「お借りしました」と言わなければなりません。つまり、引用元・参考元は必ず明記しなければなりません。それが相手の研究に敬意を払うことに繋がりますし、もし明記しなければそれは「盗用」です。そしてもし、先行研究を全く読まずに書いているとしたら……それはもはや「研究」とは呼べない、ただの独りよがりでしかありません。

### 4-2 借りた先行研究はきちんと批判する

すべての論文はなんらかの意味で、先人の研究の「批判」です。先人の研究をただ賛美し、なぞるだけではただの「調べ学習」で終わってしまいます。ただし、ここでの「批判」とは、相手の論文の過失や欠点を責め立て、否定することではありません。「批判」の文字のごとく「比べて」「判断する」ことです。

- ・論文を読んで何が明らかになったのか
- ・何が解明できていないのか
- ・賛同できるところ、できないところ

以上のようなことを論理的に評価します

(悪い例)

〇〇〇〇は、〇〇年『△△△』の中で、この問題について次のように述べている。

文献引用 だから、この問題は〇〇だ。	考察・コメントなし 「誰かがこういった。だから△△は〇〇だ」は考察とは言いません。
<b>(良い例)</b> 〇〇〇〇は、〇〇年『△△△』の中で、この問題について次のように述べている。 文献引用 つまり……………とはいえ、…………… このことから、□□□と考えた。	
	考察・コメントあり

先行研究の踏まえ方については、先人たちの多くの論文がお手本です。論文を読む際、引用の仕方、参考の仕方意識してみましょう。

### 4-3 論文の型

研究成果をまとめる際、ポスター・スライド・論文……様々な方法があります。ここではまず、全てのベースとなる論文の型を説明します。

①メインタイトル・サブタイトル 熊本県立鹿本高等学校〇年〇組〇号氏名 論文執筆年月日				
②研究背景／目的・意義				
③研究方法				
④本論				
第1章 (見出しタイトル)				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> </tr> </table>	ピース	ピース	ピース	ピース
ピース	ピース	ピース	ピース	
第2章 (見出しタイトル)				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> </tr> </table>	ピース	ピース	ピース	ピース
ピース	ピース	ピース	ピース	
第3章 (見出しタイトル)				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 10px;">ピース</td> </tr> </table>	ピース	ピース	ピース	ピース
ピース	ピース	ピース	ピース	

.....

⑤結論・今後の展望

⑥謝辞

⑦引用・参考文献一覧（メソッド p 176～ p 177）

### ①メインタイトル・サブタイトル・執筆者

タイトルには内容を補足するサブタイトルをつけましょう。サブタイトルをつけることで、どういう切り口の研究なのか、見えやすくなります。なお、タイトルは研究している中で変化していきます。最初につけたタイトルを最後にもう一度見直しましょう。

### ②研究背景・目的・意義

論文の入り口部分です。「自分はなぜこの問題を取り上げるのか」といった理由や意義を、社会背景や先行研究を踏まえながら述べていきましょう。ありがちなのは、内的動機（個人的な動機）を書く人です。

（例）× 私は将来、消防士になりたいと思っている。だから〇〇について研究した。

× 私はディズニー・ランドが好きで、毎年必ず訪れている。だからディズニーについて研究した。

上記はダメな研究背景です。研究するにあたって、その対象に関心があるのは当たり前です。きちんと社会的背景を説明し、そこから研究目的（何を明らかにしたいか）・研究の意義（それを明らかにすることで、どんなメリットがあるのか）を述べましょう。

なお、論文の入り口であるこの部分を最初に書く必要はありません（←書けません）。ここが書けるようになるのは、研究の中盤～終盤以降です。

### ③研究方法

どの研究方法を用いて調査をするのか、以下の点を参考に具体的に記しましょう。

読者がその研究を再現できるか？

リサーチクエスションに確実に答えられる方法が取られているか？

調査後の分析方法が示されているか？

研究に関するリスク管理について、認識は十分か？

（個人のプライバシーへの配慮、実験の安全管理など）

研究の限界点を認識できているか？

なお、こちらも完成するのは研究終盤です。研究途中でどんどん追加されます。順番が前後することもあります。時には調べた内容がまるまるカットされることも。ただ、最初にある程度見通しを持たなければスタートできませんので（仮）で作らしましょう。

（悪い例）

・インターネット調査 ・文献調査 ・アンケート調査 ・実験 ・インタビュー調査

漠然としていて、後追い研究ができない。 仮説が立証できる研究なのか、第三者が全く分からない。

(良い例)

#### 実験の書き方

実験 1 : オレアノール酸の特賞を生かして、巨峰とマスカットの歯磨き粉を作った。なお、作り方については平野星良 TABI LABO (2015) を参考にした。

〈手順〉 (1) ボウルに重曹 30ml、カルシウムマグネシウム 30ml を入れる。

(2) ボウルの中に水を数滴ずつ……………

#### 文献調査の書き方

調査 1 : 石田あゆの著書『図説 戦時下の化粧品広告 (1931-1943) 』に掲載されている 3 社の化粧品広告の分析を行った。なお化粧品は、医薬品医療機器等法によって、肌の保湿や洗浄など製品全体としての効果が期待されている「化粧品」と、肌荒れ防止などの有効成分が入った「医薬部外品」の 2 つに分かれている (日本化粧品工業連合会、1955) が、ここでは化粧品と医薬部外品の両方を「化粧品」と定義する。

調査 2 : 海外の第二次世界大戦中の化粧の扱いに関する論文を用いた、欧米の戦時中における化粧品の役割の分析と比較を行った。

#### アンケート調査の書き方 (インタビューもこれに準ずる)

調査 1 : 2020 年度と 2019 年土の 1 月ベネッセ総合学力テストの他校の結果を匿名で提供してもらい、それらを西出崇 (2020) 「コロナ禍における授業のオンライン化の教育に対する影響検証の試み-成績分布の変化とその要因-」『第 10 回大学情報・機関調査研究集会論文集』(p54-59) を参考に解析して、コロナ前とコロナ禍での学力の動向を多角的に調査した。

調査 2 : 2020 年度、長い期間 ZOOM によるオンライン授業が行われた〇〇高校〇〇科〇年生〇名を対象に、生徒自身が感じた学力の変化についてアンケート調査を実施した。

#### ④本論

調べた内容は、研究方法に記載した順番どおりに、見出しをつけてまとめていきます。研究方法が (1) ~ (4) までであれば、本論も (1) ~ (4) になります。きちんと流れが出来るような順番でまとめていきましょう。

#### ⑤結論・今後の展望

結論は、取り組んだりサーチャクエスチョンへの答えを示す締めくくりの部分です。自分が取り組んだ研究の目的 (リサーチクエスチョン) を再度提示し、得られた研究結果をもとに論理を組み立て、その答えを書きましょう。なお、この結論の部分では、本論で述べられていない新たな事柄の記載は行わないこと。

今後の展望は、この研究成果によって今後どのような展開があるかを示す部分です。たとえば、考察の中で立てた新たな「問い」から新たな研究が考えられる場合は、それを示しましょう。また、その研究成果によって、社会や学術面にどのような貢献が見込めるのかを書きましょう。

#### ⑥謝辞

研究に協力してくださった方々、指導してくれた先生を記載し、感謝の意を述べましょう。

#### ⑦引用文献・参考文献

論文を作成するにあたり、引用したり参考にした文献をすべて記載しましょう。なお、記載方法がきちんとしていなければ評価されません。メソッド p176-177 を見ながら、正

しく記載しましょう。

※なおポスターにまとめる際は、スペースに限りがあるため「主な引用・参考文献」で構わない。

[引用・参考文献]	
本の場合	
①前川洋一郎 (2009) 『カラオケ進化論』 廣済堂出版 (著者) (発行年) (書名) (出版社) ←本の最後のページに記載されている	
インターネット上の資料・論文の場合	
②一般財団法人全国カラオケ事業者協会 (2020) 「カラオケ業界の概要と市場規模」 (作成者) (公開年) (資料・論文のタイトル) <a href="https://www.karaoke.or.jp/05hakusyo/2020/p1.php">https://www.karaoke.or.jp/05hakusyo/2020/p1.php</a> (2021年6月1日参照) (URL) (資料・論文にアクセスした日付)	
※ネット上の資料・論文の場合、タイトル等は資料の最初のページもしくは最後のページに掲載されている。PDFのリンクが貼ってあるWEB上のページに記載されている場合もある。なお、ネット上の資料で作成者や公開年、タイトル等が不明なものは信頼度が低く、文献として参考にできないので注意しよう。	

#### 4-4 論文のピースの作り方

こうして見ていくと、論文は小さなピースが集まって完成していることがわかります。ピースとは、ひとつの論文引用に対し、次の5つを加える作業です。

- (1) 見出し (タイトル)
- (2) まくら (なぜ調査するのか)
- (3) 出典や調査対象、実験の年月日の明示 (いつ、どこで、誰に、何に)
- (4) 調査内容 (主観を交えず、客観的に記載。文献の場合は引用)
- (5) コメント (自分の意見)

	文献調査	実験	インタビュー	アンケート
①見だし	このピースに何が書いてあるのか「見出し」(タイトル)をつける			
②まくら	なぜ調査するのか、理由を述べる			
③出典	どこから引用した?……出典を明示 ※メソッドp 174-175 参照	いつ、どこでどのような実験を何回行った?	いつ、どこで、誰(所属・役職・対象)にインタビューした?	いつ、どのような対象、何人に対してアンケートを実施し、何人回答した?
④調査内容(引用) ここは主観を入れず客観的に記載	引用(文献) ※勝手に自分の言葉に書き換えない。 メソッドp 174-175 参照	実験結果をグラフや表にまとめる	インタビュー内容のまとめ。インタビュー相手にも内容が間違っていないか確認しよう。	実施したアンケート項目を記載。 結果をグラフや表にまとめる。
⑤コメント(自分の意見・考察)	引用から何が言えるか。自分の言葉でまとめ	実験結果から何が言えるか。自分の言葉でまと	インタビューから何が言えるか。自分の言葉	アンケート結果から何が言えるか。自分の言葉

	る。	める。	でまとめる。	でまとめる。
--	----	-----	--------	--------

このピースを繋げていくと、自然に論文の形ができあがります。ピースの具体例を次に掲載しますので参考にしましょう。

**カラオケを支える業界** 見出し

カラオケは小学生でもいける手軽なレジャーだ。一体どんな業界がカラオケを支えているのだろうか まくら

前川 (2009) によると 出典

カラオケ産業の基盤であるスナック、居酒屋のナイト市場、ボックスや喫茶のデイ市場、宴会場、健康ランド、ホテル、観光バスと言った余興市場などの業務用マーケット、(中略)川上のコンテンツ(楽曲、z歌詞)を担当するクリエイター、ソフトメーカーからカラオケ機器のメーカー、(中略)川下のカラオケ設備の工事・メンテナンスを行うディーラー・現場の飲食・アミューズメントサービス(中略)まさにごった煮の 引用 である。 コメント

つまり、こうしたさまざまな業界がさまざまな方向からカラオケを支えている。となれば、当然お金が動き、この筆者の試算によれば、カラオケ業界は1兆円市場になるという。

**カラオケで唄う人々** 見出し

一方でこうしたカラオケをどのくらいの人が利用しているのだろうか。 まくら

一般社団法人全国カラオケ事業者協会の「カラオケ参加人口とカラオケボックスルーム数の推移」によれば、2019年度のカラオケ参加人口は「約4,650万人と推測された」とある。 出典

コメント 引用

全人口の4割弱が唄っている。

**[引用・参考文献]**

①前川洋一郎 (2009) 『カラオケ進化論』 廣済堂出版  
 (著者) (発行年) (書名) (出版社)

②般財団法人全国カラオケ事業者協会 (2020) 「カラオケ業界の概要と市場規模」  
 (作成者) (公開年) (資料・論文のタイトル)  
<https://www.karaoke.or.jp/05hakusyo/2020/p1.php> (2021年6月1日参照)  
 (URL) (資料・論文にアクセスした日付)

片岡則夫 (2021) 『マイテーマの探し方』 筑摩書房 を元に

作成